

# 中津川市子ども読書活動推進計画

平成24～28年度



中津川市

平成24年3月



## はじめに

人との出会いが人生を変えることはよく聞かれることです。同様に、一冊の本との出会いもまた人の生き方を大きく変えることがあります。

本は、時に、私たちに勇気と希望を与え、心を癒し、悩めるその先に一筋の光を与えてくれます。また時には、まだ見ぬ遠い未来の世界や過ぎ去った歴史への旅へと誘ってくれます。

子どもの頃から本に親しむことは、読解力を養い、学力の基礎をつくとともに、他人を思いやる心を育て、自分で考え、判断し、行動する大人に成長していく上で大切です。また、近年希薄になりつつある、親子の絆や家族のコミュニケーションを深めることに繋がります。

読書の効果は目に見えにくく、長い時間を必要とすることもありますが、なにより読書を通して子どもたち一人ひとりが豊かな心を育み、将来、広い世界に飛び出し、社会の変化や厳しい現実を乗り越えていく「生きる力」を育んでくれることを願ってやみません。

また、読書を通じて郷土の歴史・文化にふれることは、ふるさとを愛する心を育て、中津川市の未来を担う人づくりにつながるものと信じております。

本計画は、子どもたちがあらゆる機会と場所で読書活動ができるよう、本に親しむ機会や読書環境の充実を目指すものです。その方針と具体的な取り組みを示し、家庭、学校、地域、図書館、関係団体・機関などが相互に連携、協力して進めてまいります。計画の推進に向けて、子どもの読書活動に取り組まれている関係者はもとより、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、格別のご尽力をいただきました策定委員の皆さまをはじめ、多くのご協力をいただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。



平成 24 年 3 月

中津川市長 青山 節児

# 目次

## はじめに

第1章 計画の策定にあたって	4
1. 策定目的と位置づけ	4
2. 基本的な考え方	5
3. 計画の対象	5
4. 計画の体系	5
5. 計画の実施期間	5
第2章 子どもの読書活動推進のための施策	6
1. 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進	6
(1) 家庭における読書活動の推進	6
(2) 地域における読書活動の推進	10
①市立図書館・公民館図書室	10
②児童館等公共施設	15
③障がいのある子どもへの取り組み	17
④外国語を母語とする子どもへの取り組み	18
(3) 学校における読書活動の推進	20
①幼稚園・保育園	20
②小学校・中学校	24
③高等学校	28
2. 子育て支援団体や企業等における読書活動の推進	30
(1) 子育て支援団体・図書館関係団体	30
(2) 企業・関係団体等	33
(3) 行政関係機関	35
3. 家庭をはじめとする子どもの読書環境の整備と充実	37
(1) 家庭	37
(2) 市立図書館・公民館図書室	37
(3) 公民館	37
(4) 学校図書館	38
(5) 幼稚園・保育園	38
(6) 児童館等公共施設	38
(7) 障がいのある子どもの読書環境	39
(8) 外国語を母語とする子どもの読書環境	39



第3章 計画の推進に向けて	40
1. 子どもの読書活動を推進する団体・機関等の連携と協力	40
2. 子どもの読書活動を支える人材の育成	40
3. 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及	40
4. 財政上の措置等	40
5. 計画の進捗管理と評価	40
資料編	41
資料1 中津川市の読書活動の現状	42
資料2 子どもの読書に関するアンケート概要	46
資料3 関係団体アンケート・ヒアリング概要	47
資料4 市内の図書・読書に関する団体一覧	48
資料5 子どもの読書活動の推進に関する法律	49
資料6 用語解説	51
資料7 読書活動関係施設マップ	55
資料8 読書活動関係施設一覧	57
資料9 中津川市子ども読書活動推進計画策定委員会	61
資料10 中津川市子ども読書活動推進計画策定の経過	62

## おわりに

### 表紙写真『絵本作家村上康成先生と実物大のザトウクジラを描こう!!』

平成23年10月23日(日)に中津川市立図書館で、中津川市をはじめ全国で活躍されている絵本作家、村上康成先生によるワークショップを開催しました。

当日は子ども達が描いた「海の生き物の絵」で、市立図書館の飾り付けをしました。

村上先生に著作である『くじらのバース』を読んでいただき、大海を旅するザトウクジラのお話しをしていただきました。その後、約60枚の黒い大きな画用紙に村上先生がザトウクジラの輪郭を描き、子どもたちがカラフルな絵の具や、手や足を使ったりして傷(模様)を描きました。ザトウクジラの「傷」は冒険と成長の証です。

完成した約15メートルもの大きなクジラを見て、「こんなに大きな絵になるなんて!」「自分より大きな紙に絵を描くのははじめて!」と子ども達は満足顔。絵の具まみれの子供達に大人達はあきれ顔。最後はみんな笑顔でクジラと記念撮影をしました。

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1. 策定目的と位置づけ

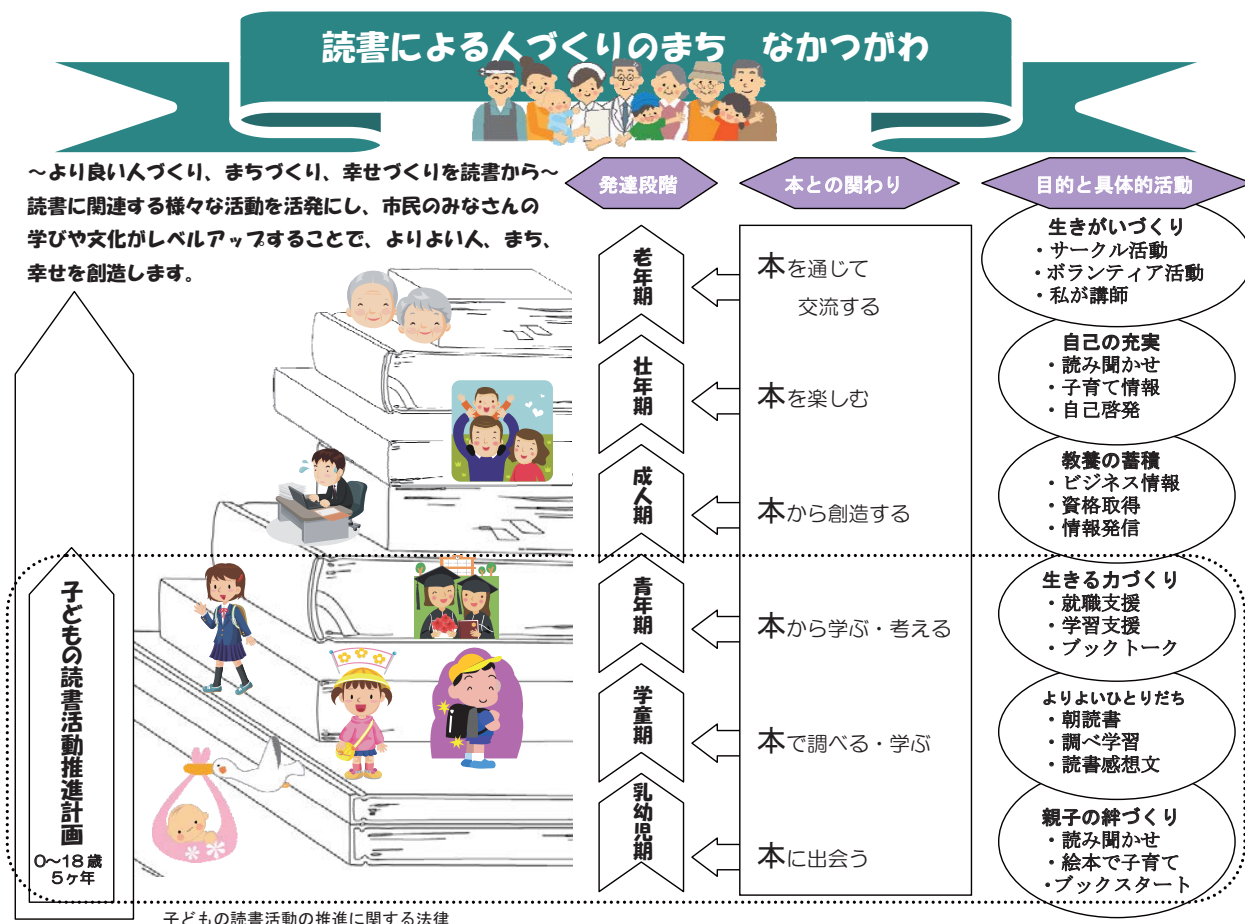


読書活動は、人生の様々な局面で、時に転機となり、時に癒しとなり、時に夢と希望と勇気を与えてくれる有意義な文化活動です。特に子どもの読書活動は、読み聞かせを通して本に親しむことから始まり、幼稚園や保育園、学校での取り組みによって、自分の世界に留まることのない想像力を生み出し、広い視野を持ちながら自ら考え、判断し、行動できる大人へ成長していくための大変重要な活動の一つです。

国は平成12年を「子ども読書年」とし、翌年12月には、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定めました。このようにして子どもの読書活動への関心の高まりと、理解の深まりが進んでいく一方、「読書離れ」「活字離れ」といった傾向が全国的に見られるようになっていきます。

中津川市は島崎藤村をはじめ、多くの文化人を生みだした自然豊かな街道文化のまちです。子どもたちがあらゆる機会と場所で、自主的な読書活動ができるように読書環境を整備することは、中津川市の「読書によるひとづくり」の礎となります。

未来を担う子どもの読書活動の、具体的な方策・目標を明らかにし、その施策を家庭、地域、学校、関係団体・機関が連携して一元的かつ計画的に推進するために「中津川市子ども読書活動推進計画」を策定します。



\*発達段階別にみた本との関わり(中津川市生涯学習課作成)

## 2. 基本的な考え方



この計画の基本的な考え方は次のとおりです。

1. 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進
2. 子育て支援団体や企業等における読書活動の推進
3. 家庭をはじめとする子どもの読書環境の整備と充実
4. 子どもの読書活動を推進する機関・団体等の情報共有及び相互連携の強化

## 3. 計画の対象



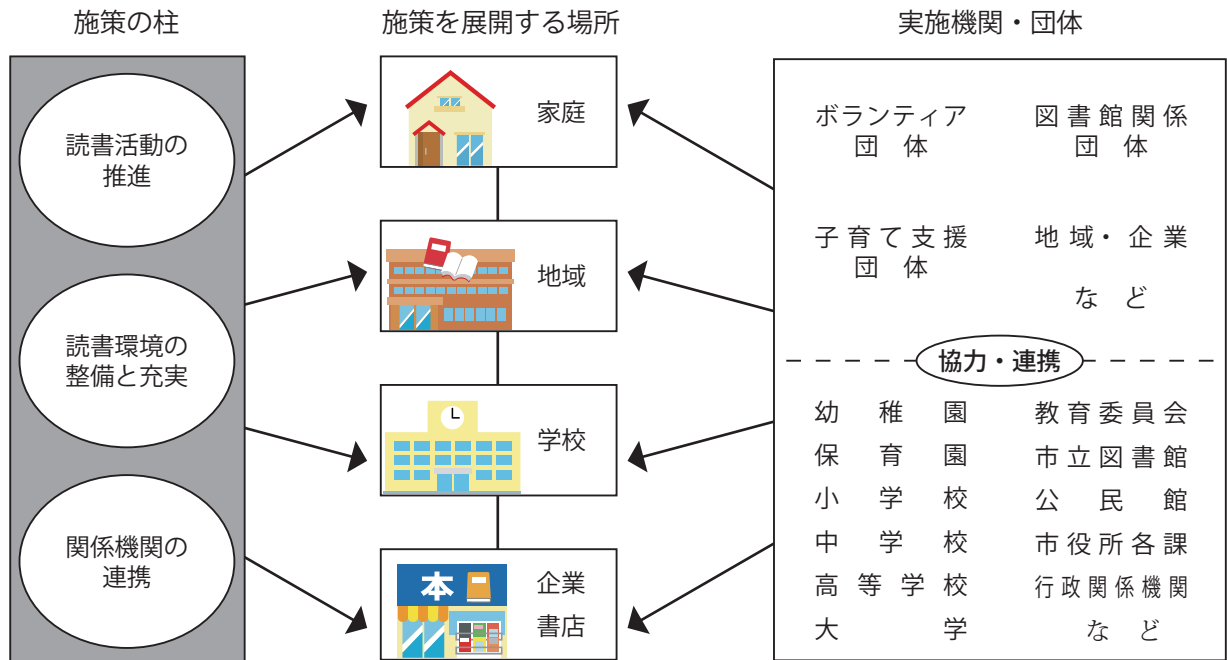
この計画の対象は、0歳からおおむね18歳とします。

なお、子どもの読書活動の推進に関する地域のボランティア、学校関係者、民間団体なども対象とします。

## 4. 計画の体系



中津川市子ども読書活動推進計画イメージ図



## 5. 計画の実施期間



この計画の実施期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とします。

## 第2章 子どもの読書活動推進のための施策

### 1. 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進



#### (1) 家庭における読書活動の推進



#### ★ 家族で本を楽しむ家庭づくり

子どもが豊かな心を育てていくためには、乳幼児期の耳から聞く読書体験にはじまる読み聞かせや読書の経験を、家庭で積み重ねていくことが重要です。そのため、家庭で読書の時間を増やすための取り組みを進めます。

保護者向けの読み聞かせに関する講座や研修の開催、親子で読書を楽しむことを目的とした事業の実施、ブックリスト<sup>\*1)</sup>等の情報提供をすることで、家庭での読書活動を充実していくための各種支援、取り組みを進めていきます。

家庭と幼稚園・保育園、小学校・中学校が一層連携するとともに、PTA、子育て支援団体等との情報共有を進めて子どもの読書活動を推進します。

#### 〈現状と課題〉

##### ブックスタート<sup>\*2)</sup>事業を実施しています

- ・中津川市では平成14年度より、3か月健診時で行っており、図書館司書<sup>\*3)</sup>、保健師、ボランティアが読み聞かせの大切さ、絵本を通じた親子のふれあい等を説明し、乳児用の絵本を手渡しています。



ブックスタート

##### パパママ教室<sup>\*4)</sup>での働きかけをしています

- ・初めての出産を迎える夫婦を対象とした子育て講座で、絵本の紹介や、読み聞かせの大切さを伝えています。



パパママ教室

1 【ブックリスト (Book List)】子どもの発達段階や、あるテーマに沿った本を、紹介したり、読書を薦めたりするために作られた本の一覧。「乳幼児向け絵本のリスト」「成人された皆さんに会って欲しい本」等。  
2 【ブックスタート (Book Start)】1992年にイギリスではじまった運動。赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報を手渡し、絵本を介した心ふれあうひとときをもつきっかけを作る。  
3 【図書館司書 (司書)】「図書館法」第4条に規定されている公立図書館および私立図書館に置かれる専門的職員。  
4 【パパママ教室】健康医療課が実施する、初めての出産を迎える夫婦を対象とした子育て講座。子育てについて、育児についての話や、お父さんの妊婦体験、もく浴体験等。



「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・子どもへの読み聞かせを始めたきっかけとして、「ブックスタート」をあげる保護者が一番多いため、継続実施し、絵本の読み聞かせの良さを伝えていく必要があります。
- ・家庭で子どもの読書を進めるために必要なこととして、「絵本や物語の読み聞かせ」をあげる保護者が一番多いため、機会を捉えて読み聞かせの良さを伝えていく必要があります。

(図1)



・本を「まったく読まない」子どもの割合は、小5では1割弱、中2では2割弱、高2では4割弱であり、学年が上がるにつれ読書をする頻度が少なくなる傾向があります。(図2)

・勉強や習い事、テレビ、ゲーム等に時間を費やすため、時間の確保が難しくなっています。また、本を読みたいと思わない人が全体で3割近くあり、読書(本)に対する関心の低さが見受けられます。読書の時間を作る、子どもが興味を持つ本や良い本の情報提供を行う等、読書のきっかけづくりをする必要があります。

《具体的な取り組み》

①家庭での読書活動の推進

実施目標

・乳幼児期からの読み聞かせの継続	継続
・幼稚園・保育園、小学校・中学校、保護者会、PTAと連携して、家読(うちどく)*の推進	継続

②読書の大切さを伝える活動を実施

実施目標

・ブックスタート事業の拡充及び継続実施	継続
・地域ボランティアと連携した、地域の読書会等、読書活動の充実	全域に拡大
・市立図書館・公民館図書室で子どもの本を紹介	継続
・発達段階、年齢、学年に応じたブックリストの作成、配布	新規
・「子ども読書の日」*等に、親子で楽しむイベントを開催	全図書館・室に拡大
・読み聞かせサークルの立ち上げと活動支援	継続

5 【家読(うちどく)】「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。家庭内で読書の楽しさを共有しようという運動。また、家族で読書を楽しむことそのものをいう。

6 【子ども読書の日】4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第10条によって制定。

③子育て講座等を通じた読書活動の推進

実施目標

・家庭教育学級 <sup>*7)</sup> や子育て支援拠点での読書活動に関する研修の実施や、本の貸出し	継続
・保護者向けの絵本の読み聞かせ講座の実施	新規
・保護者が読書の大切さを知るきっかけとなる読書講演会等の実施	継続

\* 「子どもの読書に関するアンケート」(平成23年9月生涯学習課実施)より

図1. (家庭で)子どもの読書をすすめるために必要なことはなんだと思いますか?  
〔小5(363人)・中2(366人)・高2(165人)の保護者(%)〕

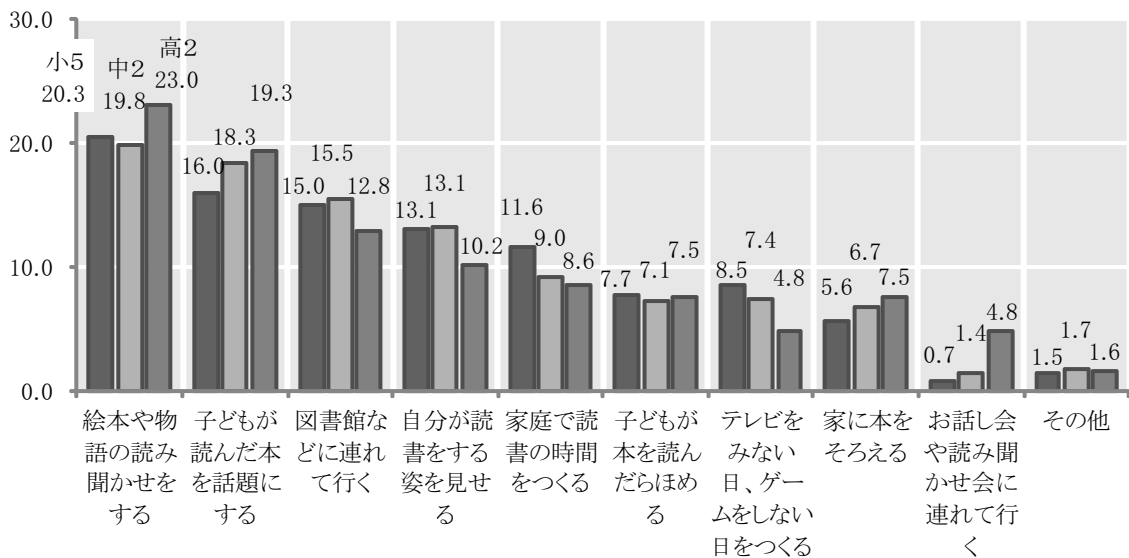
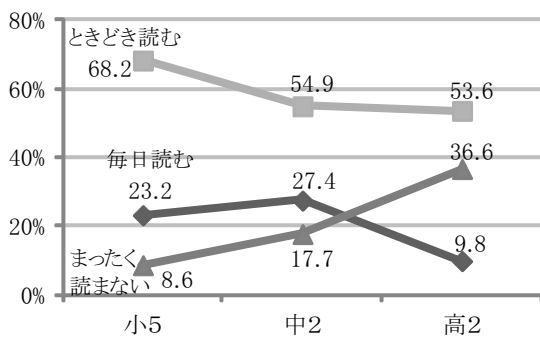


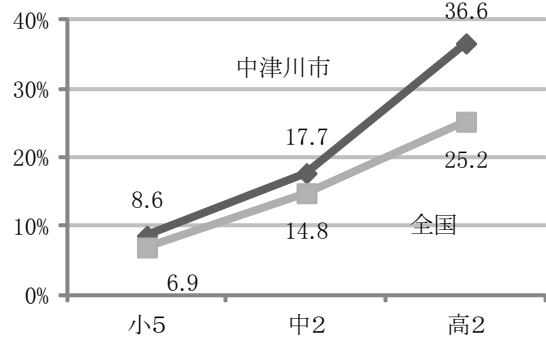
図2. 家や学校等で、どれくらい本を読みますか?

〔小5(151人)・中2(164人)・高2(72人)の児童、生徒(%)〕

(1) 頻度



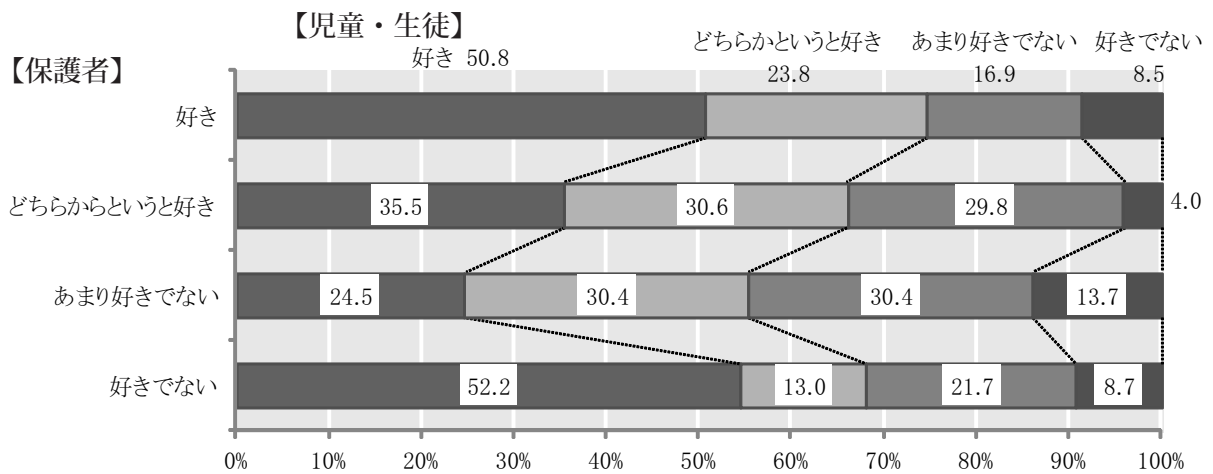
【参考】不読率



7 【家庭教育学級】「親子のかかわり」について考えたり、子育てを学ぶ場。「親同士の交流」の場でもある。公民館で行われる乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象とした乳幼児学級や、母親委員会の研修会等。

\*参考 読書への興味と親子の関係

本を読むことが好きですか？		児童生徒											
		好き		どちらからという うと好き		あまり好きでない		好きでない		不明		合計	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
保護者	好き	66	50.8	31	23.8	22	16.9	11	8.5			130	30.3
	どちらからという と好き	44	35.5	38	30.6	37	29.8	5	4.0			124	28.9
	あまり好きでない	25	24.5	31	30.4	31	30.4	14	13.7	1	1.0	102	23.8
	好きでない	12	52.2	3	13.0	5	21.7	2	8.7	1	4.3	23	5.4
	不明	18	36.0	19	38.0	9	18.0	4	8.0			50	11.7
	合計	165	38.5	122	28.4	104	24.2	36	8.4	2	0.5	429	100.0



親子の読書への興味を比較しました（幼稚園・保育園保護者を除く）。

「本を読むことが好き」「どちらかというと好き」と回答した保護者のうち、7割の子どもが「本を読むことが好き」「どちらかというと好き」と回答しています。

保護者が本を読むことが好きだと、子どもも本を読むことが好きという傾向がみられます。その一方で、回答数が少ないものの、保護者が「好きでない」と回答していても、子どもは「本を読むことが好き」と回答している例もみられました。

## (2) 地域における読書活動の推進



### ★ 子どもの読書活動を支える施設の充実と団体の支援

市立図書館・公民館図書室、児童館、公共施設等、子どもが本とふれあえる施設を整備、充実します。また、図書・読書に関する団体を支援します。

障がいのある子どもや、外国語を母語とする子どもに配慮し、全ての子どもが読書に親しめるような環境をつくっていきます。

### ①市立図書館・公民館図書室

図書館は、子どもが発達段階に応じた読書活動に親しみ、自分で考え主体的に判断できる力を養うための場と機会を提供し、支援します。

また、子どもの育ちの場である家庭や、地域、幼稚園・保育園、小学校・中学校、高等学校における読書活動推進の取り組みを積極的に支援します。

#### 《現状と課題》

#### 市内の市立図書館・公民館図書室

市立図書館	2館（中央館、蛭川済美図書館）
公民館図書室	6室（山口、坂下、川上、加子母、付知、福岡）

- 中央と蛭川を除く11か所の公民館のうち、5か所（苗木、坂本、落合、阿木、神坂）の公民館には図書コーナーのある場所もありますが、公民館図書室としては整備されていません。

#### 児童書の貸出し冊数に比べ、蔵書数が少ない状態です

\*市立図書館データ

(H22年度)	蔵書数	うち児童書	貸出冊数(年間)	うち児童書
中央館	147,729冊	40,968冊	207,941冊	92,536冊
済美図書館	23,183冊	9,449冊	26,980冊	17,059冊
公民館図書室(6室)	61,162冊	25,360冊	41,140冊	22,497冊
合計	232,074冊	75,777冊	276,061冊	132,092冊

- 中央館の児童書は蔵書全体の28%を占めます。済美図書館・公民館図書室を含めた市内の合計では、蔵書全体の33%が児童書です。
- 中央館での児童書の貸出しは、全体貸出し数の45%です。済美図書館・公民館図書室を含めると全体貸出し数の48%で、蔵書数に比べて児童書の貸出し割合が高くなっています。



蛭川済美図書館



<sup>\*8)</sup> 配本サービスを実施しています

- ・市内のどの図書館・図書室からでも本を借りたり返したりできます。
- ・保育士や教師等から要望のあったテーマの本を、まとめて幼稚園・保育園や、学校、特別養護老人ホーム等へ届けています。
- ・公民館図書室のない5か所の公民館へは、中央館からの定期的な配本サービスを実施していません。
- ・平成20年に廃止した移動図書館車に変わる遠隔地へのサービスとして、配本サービスの拡充が必要です。

<sup>\*9)</sup> 読み聞かせサポーター養成講座を開講しています

- ・平成22年度より継続的に開講しています。修了生による「読み聞かせ会」等を中央館や公民館図書室で実施しています。

各種イベントを開催しています

- ・各図書館・図書室では、ボランティアグループによる読み聞かせや、子ども向け行事を継続的に行なっています。
- ・各図書館・図書室では、子ども向け・親子向けの行事を行っていますが、その認知度、参加率はなかなか向上していかない状況です。

「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・市立図書館・公民館図書室を利用しないと回答した児童・生徒は約4割です。特に高校生では6割近くの生徒が利用していません。一方、保護者においても4割が利用していないのが現状です。(図3、図4)
- ・各図書館・図書室の利用率が低い理由として、児童・生徒の4割が「行く時間がない」と答えています。また、保護者の約3割が「読みたい本は購入する」、約2割が「場所が遠い」と答えています。
- ・高校生の利用の低さは、各図書館・図書室内の学習室や閲覧席の不足も影響しているとみられます。中高生は「中高生向けの図書や雑誌の充実」を望み、時代に合わせた「インターネット環境の整備」や「学習の場」としての図書館の機能を求めています。また、保護者は子どもの読書を進めるために、「児童書コーナーや児童書の充実」を希望しています。(図5)



読み聞かせサポーター養成講座



子ども読書の日イベント



村上康成先生と実物大のザトウクジラを描こう!

8【配本サービス】利用者から要望のあった資料を公民館図書室や学校等まで配送するサービス。中津川市では、利用者から要望のあった予約リクエスト本を近くの公民館図書室まで届けるサービスと、学校から要望のあった資料をその学校に届けるサービスを行っている。また、特別養護老人ホーム等への配本も行っている。

9【読み聞かせサポーター養成講座】市が実施する、読み聞かせに興味がある人を対象とした講座。絵本の選び方、読み方、実際にボランティアとして活動する際の心得等を学ぶ。

《具体的な取り組み》

<b>実施目標</b>	
①子ども向け図書、資料の整備・充実	
・読み聞かせ用の「大型絵本」「紙芝居」の充実	拡大
<b>実施目標</b>	
②図書館サービスの充実	
・レファレンス <sup>*10</sup> ・読書相談・学習相談への対応の充実	拡大
・おはなし会や、手作り絵本講座等、各種イベント・講座の実施	拡大
・「子ども読書の日」「こどもの読書週間 <sup>*11</sup> 」にあわせた取り組みの実施	全図書館・室に拡大
<b>実施目標</b>	
③家庭・地域への支援	
・乳幼児の保護者に対する読み聞かせ等、読書に関する周知と働きかけの機会を充実《絵本で子育て事業 <sup>*12</sup> 》	継続
・絵本の選び方や読書方法について学習の機会を提供	継続
・公民館への配本サービスの充実	全公民館に拡大
<b>実施目標</b>	
④幼稚園・保育園等への支援	
・幼稚園教諭・保育士を対象とした、絵本の選び方や読み聞かせ方法等の講習の機会を充実	新規
・中央館からの絵本、紙芝居等の配本サービスを拡充	拡大
<b>実施目標</b>	
⑤学校への支援	
・調べ学習・学校教職員向け貸出しへの協力等、学校教育への支援	全校に拡大
・学校図書館の充実のため、ボランティアの育成や紹介、派遣等の支援	全校に拡大
・学校図書館と市立図書館との連携のため、職員・司書の交流研修を実施	拡大

10 【レファレンス】「調べもの」や「探しもの」を、図書館職員が「お手伝い」すること。利用者が求める資料や情報を図書館資料からの確に提供する「情報提供」や、利用者が図書館資料にあたる際の手助けを行う「利用援助」をいう。

11 【こどもの読書週間】4月23日～5月12日の約3週間。社団法人読書推進運動協議会が1959年に始めた。

12 【絵本で子育て事業】幼稚園、保育園への読み聞かせ事業。平成19年度より市立図書館（中央館）が実施。公立・法人含めた33園の希望を取って講師および司書を派遣し、親子行事や祖父母参観日等で読み聞かせ等を行う。

⑥図書館からの情報発信

実施目標

- ・子どもの本や関連する情報を、ホームページや図書館だよりで発信

継続

⑦中津川市の地域特性に応じた読書活動の推進

実施目標

- ・地域の郷土資料や昔話等の特色ある歴史・文化・習俗にふれあえる、学習やイベントの機会を提供・支援

拡大

- ・地域で伝承されている祭礼・年中行事等、多様な文化の情報収集と提供

拡大

- ・郷土にゆかりのある作家<sup>\*13)</sup>を知る機会の提供や、関連イベントの開催  
 《読書講演会、郷土の作家によるワークショップ等》

拡大



地域の行事「ギオンバ」

13 【郷土にゆかりのある作家】島崎藤村（詩人・小説家）、酒井朝彦（児童文学者）、宮口しづえ（児童文学作家）、村上康成（絵本作家）等。

\* 「子どもの読書に関するアンケート」(平成23年9月生涯学習課実施)より

図3. あなたは市立図書館や公民館図書室に行きますか？

[小5 (151人)・中2 (164人)・高2 (112人) の児童、生徒 (%) ]

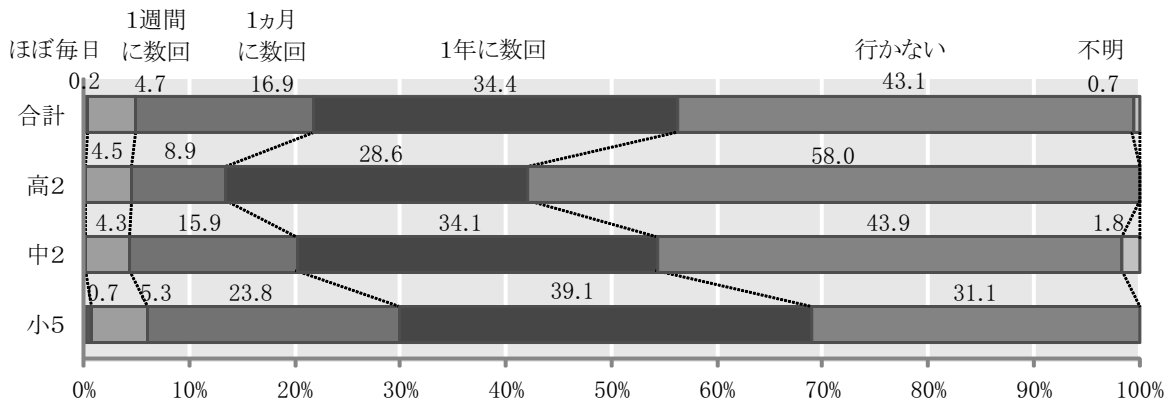


図4. あなたは市立図書館や公民館図書室に行きますか？

[未就園児 (107人)・幼保 (98人)・小5 (151人)・中2 (162人)・高2 (67人) の保護者 (%) ]

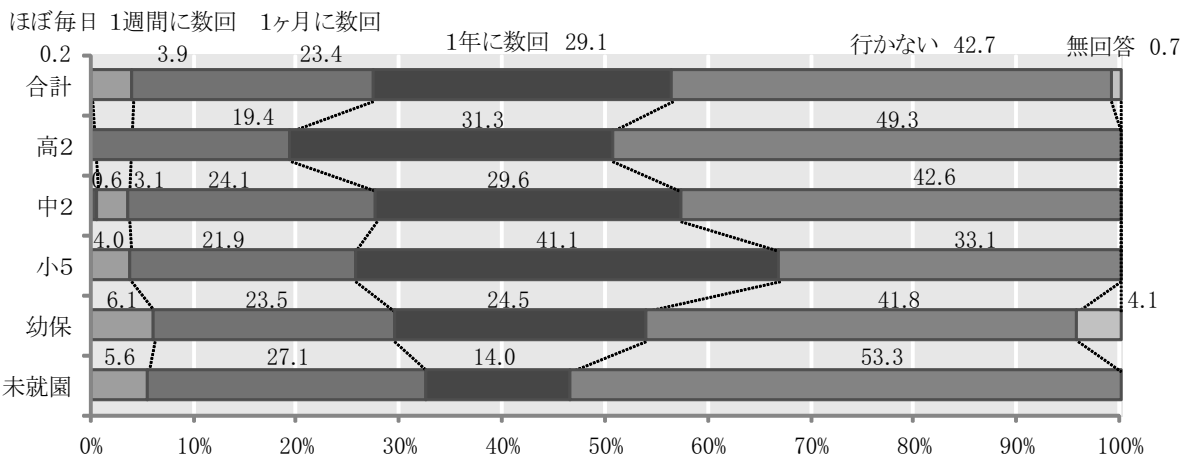
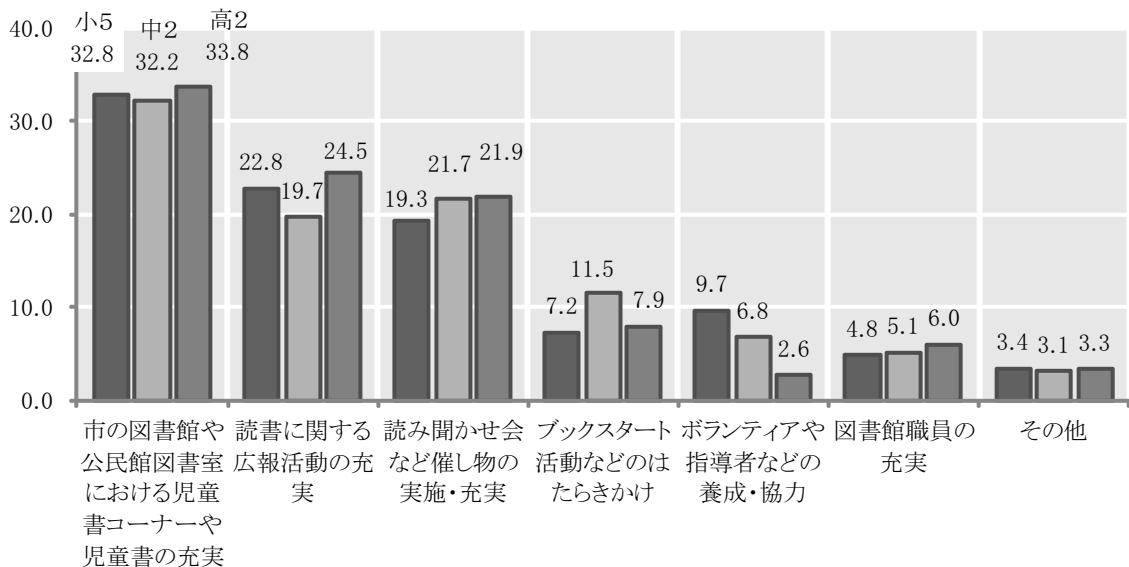


図5. (地域で) 子どもの読書をすすめるために必要なことはなんでしょうか？

[小5 (290人)・中2 (295人)・高2 (151人) の保護者 (%) ]





## ②児童館等公共施設

児童館では、担当指導員や、地域のボランティアによる読み聞かせ会等があり、子どもが読書に親しみ、本を楽しむ体験の場となっています。

市立図書館・公民館図書室と児童館との連携を密接にして、団体貸出し<sup>\*14</sup>の利用促進を図り、子どもがより多くの本と出会う環境づくりを支援します。

その他、にぎわいプラザ、保健センター、中津川市民病院、坂下病院等の子どもや親子が集まりやすい施設では、気軽に本を手に取り、読書に親しめるよう図書コーナーの設置等環境づくりに努めます。

### 《現状と課題》

#### 市内の児童館等公共施設

児童館・児童センター	4館（東児童館、西児童館、児童センター、坂本ふれあい施設）
赤ちゃん文庫	4か所（健康福祉会館、福岡保健センター、付知福祉センター、坂下健康福祉会館）

- ・児童館・児童センターは4館とも図書コーナーがあり、合わせて約5,400冊の蔵書があります。そのほとんどが寄贈本であり、マンガも1割程あります。
- ・児童館・児童センターは、乳幼児を持つ保護者が多く訪れるので、市立図書館との事業連携を計画的に進める必要があります。
- ・平成22年度に設置した「赤ちゃん文庫」は、年間約2,000人の乳幼児と保護者が利用しています。
- ・予防接種や「乳幼児なんでも相談」の時に、保育士やボランティアによる読み聞かせを行っています。



赤ちゃん文庫

#### その他の公共施設では…

- ・にぎわいプラザ3階「世代間交流フロア」には、ミニ図書コーナーがあり、気軽に親子で絵本を楽しむ空間があります。子育て支援団体が常駐しており、定期的に読み聞かせ等の事業を行っています。
- ・公民館での乳幼児学級、保育園・幼稚園での未就園児交流会等では、未就園児とその保護者に対する読み聞かせが活発に行われ、親子で絵本や紙芝居に親しんでいます。

14 【団体貸出し】図書館が地域や職場の団体やグループ等に図書館資料をまとめて貸出しすること。

《具体的な取り組み》

①子ども向け図書の整備・充実

実施目標

・長年読み継がれている本等、寄贈も含めた図書の充実	継続
---------------------------	----

②市立図書館・公民館図書室との連携

実施目標

・団体貸出し、配本サービスの利用	新規
・図書館職員による選書や本の手入れについてのアドバイスの機会を提供	新規

③地域のボランティア等による読書推進活動の支援

実施目標

・地域の読み聞かせサークルへ活動の場を紹介・提供	新規
--------------------------	----

④読書に関するイベントの開催

実施目標

・読書に関するイベントの情報提供・周知	拡大
・保護者に子どもの読書の大切さについて周知する機会の充実	新規



西児童館での絵本を使った子育て支援事業

### ③障がいのある子どもへの取り組み

障がいのある子どものために、発達支援センターでの図書等の充実や、市立図書館・公民館図書室による配本サービスの活用等で、気兼ねなく親子で本を楽しんだり、保護者が知りたい情報が得ることができるような環境づくりに努めます。

#### 〈現状と課題〉

##### 市内の発達支援センター

つくしんぼ	図書コーナーあり
どんぐり	5か所（福岡、坂下、加子母、付知、蛭川）図書コーナーなし

- ・発達支援センターでは、障がいのある子どもや、乳幼児期の発達が気になる子どもに対して、早期に発達支援を行うことで子どもの成長を促しています。
- ・発達支援センター「つくしんぼ」の図書コーナーでは、通所児及びその保護者に図書等の貸出しも行っています。

##### その他障がいのある子どものための施設・サービスでは…

- ・点訳、音訳のボランティアが活動していますが、子ども向けの事業は特に行われていません。
- ・障がいのある子どもが気兼ねなく本に親しみ、利用できる場がありません。

おもしろいな 楽しいな  
お気に入りの1冊を見つけよう!



つくしんぼ図書コーナー

#### 〈具体的な取り組み〉

##### ①障がいのある子どものニーズにあった資料の充実

実施目標

- ・発達支援センター、市立図書館・公民館図書室等での、障がいのある子どもに配慮した本や、保護者向けの本等、図書の充実

継続

##### ②障がいのある子どもに配慮できる人材の育成

実施目標

- ・点訳・音訳ボランティア養成講座等、各種講習会の開催
- ・障がいのある子ども子どもが、図書館を有効に使うことができるよう配慮できる職員の育成

新規

新規

③市立図書館・公民館図書室との連携

実施目標

・発達支援センターへの団体貸出し、配本サービスの利用推進	新規
・ボランティアと連携した対面朗読サービスの充実	継続
・全ての子どもが楽しめるイベントの開催・支援	継続

④障がいのある子どもにやさしい読書環境の整備

実施目標

・在宅の子どもに配慮したサービスの実施	新規
・障がいのある子どもが本にふれあえる図書の展示・掲示の実施	継続
・障がいのある子どもが安心して読書のできる場の確保	拡大

④外国語を母語とする子どもへの取り組み

外国語を母語とする子どものために、外国語の図書の充実や全ての子どもが楽しめるイベントを開催することで、母語に親しめる場、日本語を学べる場、本を通したコミュニケーションの場づくりに努めます。

学校では…

- ・中津川市内の小中学校には、平成23年12月現在、23名の外国人(ブラジル人、フィリピン人、中国人、ペルー人)が在籍しており、そのうち日本語指導を必要とする児童生徒には4名の日本語指導支援員(英語、中国語)を設置しています。

外国語を母語とする子どものためのサービスでは…

- ・市立図書館(中央館)には、外国語で書かれた絵本のコーナーや外国語の辞書が揃っています。
- ・市立図書館(中央館)では、英語にふれあう読み聞かせ会が定期的に行われています。
- ・乳幼児の健診等では、日本人の付き添いと一緒に来ていることが多く、コミュニケーションで困る事はありません。
- ・ブックスタートでは、日本人と同じ本を渡しています。



市立図書館(中央館)の外国語の本コーナー



《具体的な取り組み》

①外国語を母語とする子どものニーズにあった資料の充実	実施目標
・市立図書館・公民館図書室等での、外国語の図書の充実	継続
②外国語を母語とする子どもの読書活動を支援できる人材の育成	実施目標
・外国語を母語とする子どもが図書館を有効に使うことができるよう配慮できる職員の育成	拡大
・外国語を母語とする子どもが本に親しむことができるよう、外国人支援団体等、民間ボランティアへの支援	新規
③市立図書館・公民館図書室との連携	実施目標
・全ての子どもが楽しめるイベントの開催・支援	継続
④外国語を母語とする子どもにやさしい読書環境の整備	実施目標
・外国語を母語とする子どもが、本にふれあえる図書の展示・掲示の実施	継続
・外国語を母語とする子どもが安心して読書のできる場の確保	拡大



ポポタムスのえいごDEおはなし会(中央館)

### (3) 学校における読書活動の推進



#### ★ 読み聞かせや学習を通じた本に親しむ習慣づくり

幼稚園・保育園、小中高等学校では、読み聞かせや全校一斉読書等、園・学校生活を通じた読書活動を推進し、子どもが日常的に本を手に取り、楽しむ習慣をつくっていきます。  
また、行事や広報を通して、保護者へ読み聞かせや読書を広める取り組みをしていきます。

#### ① 幼稚園・保育園

幼稚園・保育園においては、子どもが絵本や物語と出会い、想像力を育みながら多くの言葉にふれる経験により、言語感覚を養うとともに豊かな情操を育むことができるよう、本にふれあう環境を充実させていきます。

#### ＜現状と課題＞

##### 市内の幼稚園・保育園

公立保育園	17園
法人保育園	6園
公立幼稚園	6園
法人幼稚園	4園

- ・多くの園で、保育士、幼稚園教諭等による読み聞かせやお話し会、家庭への絵本の貸出し等を行っており、情操教育、読書への機会づくりに力を入れています。
- ・学校図書館司書<sup>\*15</sup>6名が公立幼稚園を巡回し、読み聞かせ等を行っています。
- ・市立図書館（中央館）には、年間を通じて近隣の保育園・幼稚園から園児が絵本等の貸出し体験に訪れています。
- ・園で良い本が選べるように、保育士、幼稚園教諭の研修の機会が必要です。



保育園保護者向け読み聞かせ講座

##### 絵本で子育て事業を実施しています

- ・市立図書館（中央館）主催で平成19年度より実施し、親子行事や祖父母参観日等を活用して各保育園・幼稚園でお話し会等を開催しています。



絵本で子育て事業

15 【学校図書館司書】 学校図書館で司書として仕事に従事している職員。

「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・保護者の9割が、自分の子どもは本が好きだと思っています。(図6)
- ・保護者の8割が、読み聞かせを「毎日」または「週に1～3回」しています。(図7)
- ・読み聞かせをする理由として多いのが、「親子で絵本を楽しめる」「子どもの感性が育つ」「親子の絆・愛情が深まる」となっています。(図8)
- ・読み聞かせをするきっかけとして「園で借りてくるようになってから」という意見もあり、保護者への継続的な働きかけが重要です。

《具体的な取り組み》

①幼稚園・保育園における読み聞かせの推進	実施目標
・幼稚園教諭・保育士への読み聞かせ研修の実施	新規
・保護者等参加の読み聞かせ会の実施を支援	拡大
②家庭における読み聞かせの推進	実施目標
・読み聞かせの大切さについて、園だよりや講演会等による保護者への働きかけ	拡大
・図書館職員による幼稚園・保育園等における読み聞かせ研修の実施	新規
③地域、関係機関等による読書活動の支援	実施目標
・幼稚園・保育園で活躍する地域ボランティア、保護者ボランティアの育成	拡大
・小中学生、高校生が園児等へ読み聞かせのできる場を提供	新規
・園で良い本が選べるように、図書館が本の紹介をする等の支援	新規

\* 「子どもの読書に関するアンケート」(平成23年9月生涯学習課実施)より

図6. お子さんは、本が好きだと思いますか？

[幼保(98人)・小5(151人)・中2(162人)・高2(67人)保護者(%)]

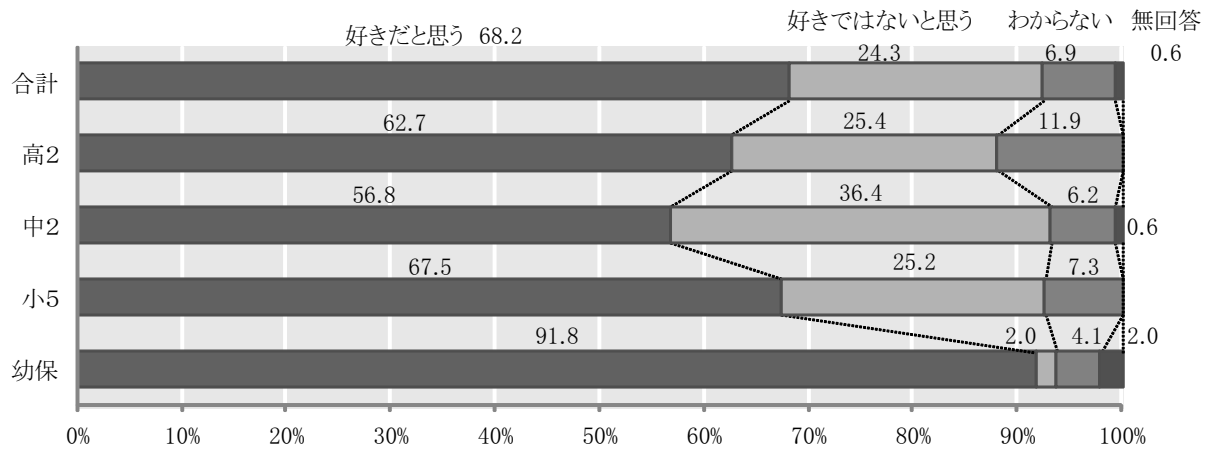


図7. お子さんに絵本や物語の読み聞かせをしていますか？(していましたか？)

[未就園(107人)・幼保(98人)・小5(151人)・中2(162人)・高2(67人)保護者(%)]

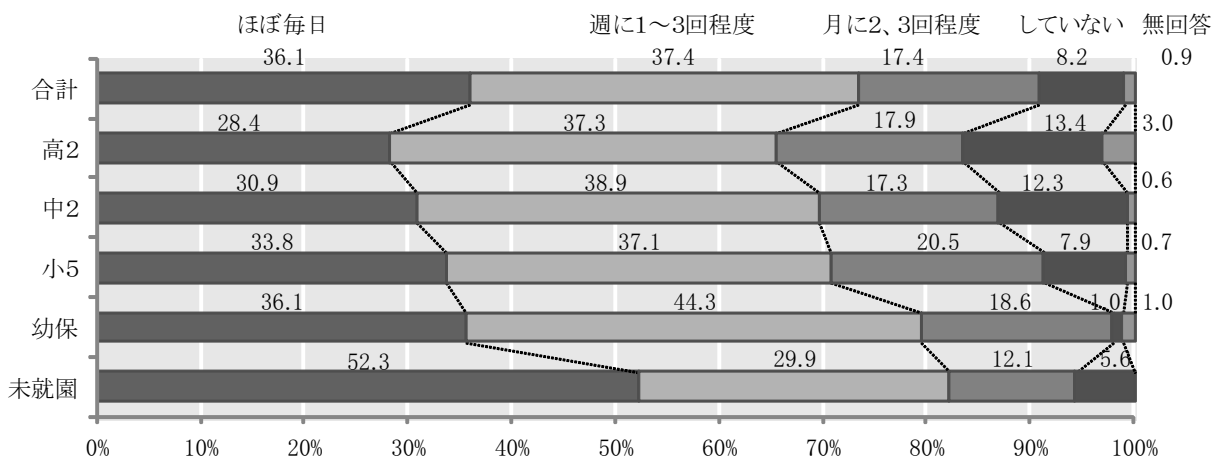
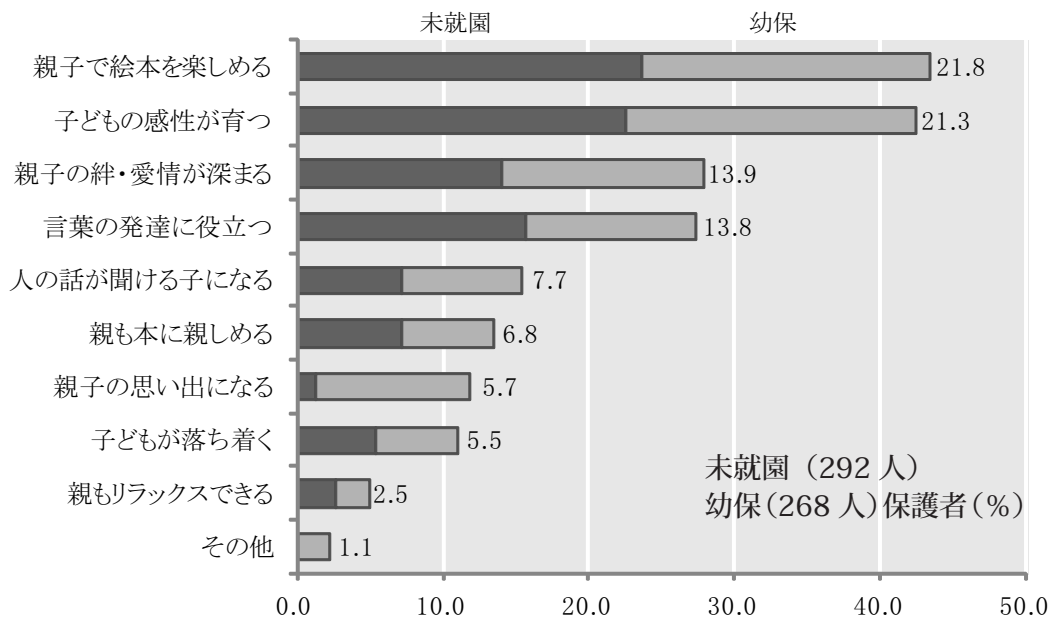


図8. 読み聞かせをする理由を選んでください。(3つまで)



参考：幼稚園で中津川の民話等に親しむ活動を

杉の子幼稚園では、「地域に伝わる民話を通して、日本人としての豊かな心を育む」をテーマに、地域に古くから伝わる話を絵本にしました。

この民話集を、親子交流・祖父母との交流に役立てたり、広く地域の文化活動に活用してもらったりすることで、日本人としての豊かな心を育むことにつながっています。

また、「生きる力を育む」をテーマに地域の子どもの伝承文化である、わらべうた活動も行い、その遊び方絵本も作成しました。

『なかつがわのむかしばなし』 杉の子幼稚園編

1巻 | 「ズイトンさんのきつねこうやく」(落合)

「なすびがわ」(茄子川)

「はだかぶひょう」(上金)

2巻 | 「あかかべじょう」(苗木)

「ひあぶりせんどさん」(阿木)

3巻 | 「さんびきのきつね」(駒場、本町、前山)

「ねんぶついで」(茄子川、二軒家)

4巻 | 「雷石」(阿木)

5巻 | 「尾巻き」(坂下)



市立図書館・公民館図書室等で読むことができます。

杉の子幼稚園発行『なかつがわのわらべうたあそび』  
『なかつがわのむかしばなし』



## ②小学校・中学校

学校図書館は、豊かな感性や心を育む場としての機能と、「調べ学習<sup>\*16)</sup>」等児童生徒の自発的・主体的な学習活動を支援する場としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うことが期待されます。

子どもが日常的に本を手にし、本に親しみ、読書習慣を定着させるために、学校図書館を中心に、読書活動の推進が図られています。学校での読書活動をより活発にするために、様々な工夫をして市立図書館・公民館図書室と連携していきます。

### 《現状と課題》

#### 市内の小学校・中学校

小学校	19校
中学校	12校

- ・学級数が12以上あるすべての小中学校には司書教諭<sup>\*17)</sup>が配置されています。
- ・学校図書館司書6名が各小中学校を巡回し、学校図書館の整備や児童生徒への利用指導、図書館の活用の充実に努めています。
- ・学校図書館の環境が良くない学校もあり、利用しやすい整備が必要です。
- ・教育委員会では「絆プラン」を実施し、教育委員会、小中学校、PTAが連携して、読書活動を通じた親子の絆づくりを進めています。

#### 読書活動・調べ学習を取り入れた学習を行っています

- ・国語等の各教科、特別活動、総合的な学習の時間や授業間の時間等を通じて、読書活動が行われており、子どもの読書習慣を形成していく上で大きな役割を果たしています。
- ・全小中学校31校（1校は実施予定）で全校一斉読書活動を行っています。
- ・全小学校19校、中学校7校で推薦図書を指定しています。



西小学校の本を使った学習

#### PTAによる読み聞かせを行っています

- ・学校における読み聞かせは、PTAを中心としたボランティアの協力で行なわれています。
- ・ボランティアの都合により実施できない日もあり、ボランティアの補助支援が必要です。



東小学校PTAによる読み聞かせ

16 【調べ学習】児童生徒がある課題について、図書館を利用したり聞き取り調査を行ったり、様々な資料を調べ結果をまとめること。

17 【司書教諭】「学校図書館法」第5条において、学校図書館におかなければならないとされる司書教諭の資格を持つ職員。同法附則では、学級数が11以下の規模の学校には置かないことができるとされており、中津川市では司書教諭のいない学校を含めて、学校図書館司書がその業務を支援している。

市立図書館との連携をしています

- ・各学校の要望に沿った配本サービスを中央館と蛭川済美図書館で行っています。
- ・学校図書館司書と中央館司書との連絡会議を持ち、相互連携を深められるようにしています。

「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・小5の多くが学校図書館を利用していますが、中2、高2と学年が上がるにつれ利用が減っています。学校図書館を利用しない理由として、中2は「他の遊びがしたい」、「借りるのが面倒」と答えています。(図9)
- ・保護者の全体的な声として「調べ学習」等学校図書館を使った学習の充実を求めています。(図10)

《具体的な取り組み》

①学校における読書活動の一層の推進

実施目標

・司書教諭、学校図書館司書の充実	小中全校に配置
・図書資料のデータベース化	小中全校で実施
・一斉読書活動の拡充	小中全校に拡大
・推薦図書の指定	拡大
・読書週間を推進する取り組みの実施	小中全校で継続
・図書館の使い方に関するオリエンテーションの充実	拡大
・各教科等における学校図書館を活用した授業、及び研修の実施	小中全校で継続
・児童・生徒が主体となる図書委員会等の読書推進活動の実施	小中全校で継続
・PTAを中心としたボランティアの協力による読書推進活動の実施	継続

②関係機関との連携及びネットワークづくり

実施目標

・保護者や地域のボランティアの学校図書館づくりや読書活動への参画の推進	拡大
・市立図書館・公民館図書室との連携による学校図書館ボランティア研修の実施	新規
・教職員の市立図書館・公民館図書室の利用と活用を推進	拡大
・児童・生徒の市立図書館・公民館図書室の利用と活用を推進	拡大
・市立図書館（中央館）からのL31（全小中学校31校への配本サービス事業）の実施	定期化

\* 「子どもの読書に関するアンケート」(平成23年9月生涯学習課実施)より

図9. 1週間に何回ぐらい学校図書館に行きますか？

[小5 (151人)・中2 (164人)・高2 (112人) の児童・生徒 (%) ]

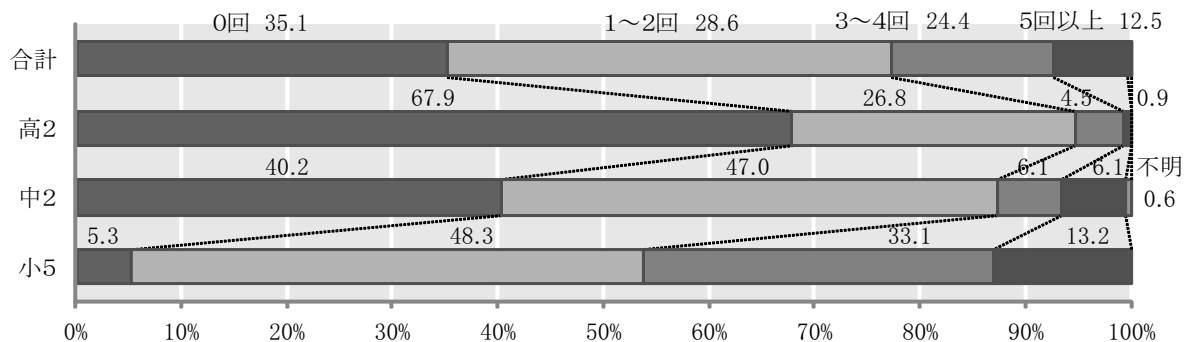
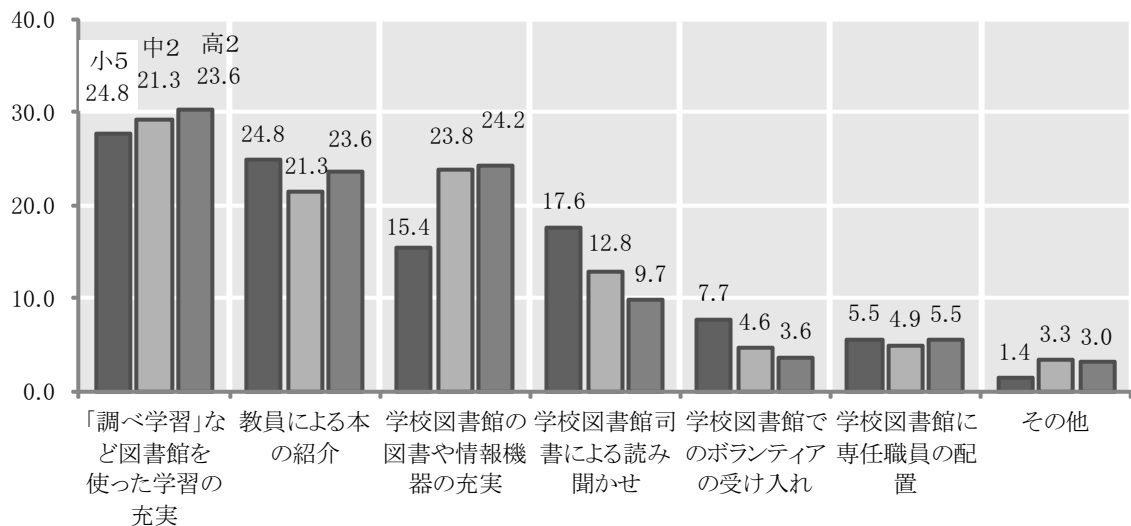


図10. (学校で) 子どもの読書をすすめるために必要なことは何だと思えますか？

[小5 (363人)・中2 (366人)・高2 (165人) の保護者 (%) ]



参考：学校教育の中で「読書」はどんな意味を持っているの？

文部科学省では、全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるようにするため、各学校で教育課程を編成する際の基準である「学習指導要領」を定めています。

「生きる力」を育むという理念のもと定められた学習指導要領においては、小・中学校で、児童生徒の発達段階に応じた「楽しんで読書しようとする態度の育成」や「読書に親しみ、ものの見方、感じ方や考え方を広げたり深めたりしようとする態度の育成」等を目標としています。

また、児童生徒の「調べ学習」等多様な学習活動を展開し、主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実するために、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図る」としています。



参考：「絆プラン～読み聞かせ・読書活動」で親子の絆づくり

平成22年度より中津川市教育委員会では、幼稚園・保育園、小中学校で「絆プラン」を進めています。

「よりよいひとりだち」を支える土台の一つは「親子の絆」です。それを育む、読み聞かせ、親子読書といった読書活動の充実を通して親子の確かな絆づくりを進めます。

★教育委員会は★

学校図書館司書6名による読み聞かせ活動や本の紹介、図書整備等で幼稚園・保育園、小中学校を支援していきます。(読育の推進)

○家庭には

乳幼児の保護者に子育て教室で、本の出会いや読み聞かせの働きかけをしています。

○各PTAには

読み聞かせ・読書活動で親子の絆づくりの協力をお願いしています。

○幼稚園・保育園では

園児には読み聞かせをし、保護者には読み聞かせの方法を紹介します。

○小中学校では

本の紹介や読書の時間を設け、本に親しむ機会を増やし、本の好きな子を育てます。



神坂小学校読み聞かせ講演会(児童・保護者・教員対象)

### ③高等学校

小・中学校で養った読書習慣を、高等学校においてより一層確かなものとする活動を充実していく必要があります。

市立高等学校、県立高等学校それぞれの学校において、生徒の実態に応じた読書指導計画の立案やその他、様々な学習指導活動を通じて、生徒の読書活動がより一層充実するように期待されます。

また、個々の発達段階を考慮し、生徒一人ひとりが、興味・関心や学習目的に応じて幅広い作品に触れられるよう、市立図書館との連携を深める等、学校図書館の利用環境をさらに整えていきます。

#### 《現状と課題》

##### 市内の高等学校

市立高等学校	1校
県立高等学校	4校

- ・専任の学校図書館司書がいる学校と兼務の学校があります。

##### 高校生の読書活動は…

- ・中津商業高校には「図書部」があり、学校図書館の運営補助のほか、読書活動等、活発な図書館活動が行われています。
- ・中津高校の美術部が市立図書館（中央館）の配本サービスカーのデザインをする等、高校生ボランティアと協働した活動が期待されます。



配本サービスカーと中津高校生

##### 「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・高2の約7割が学校図書館を利用していません。
- ・利用しない理由として、「読みたい本がない」「借りるのが面倒」をあげています。
- ・保護者は、「調べ学習」等学校図書館を使った学習の充実を求めています。

#### 《具体的な取り組み》

①学校における読書活動の一層の推進	実施目標
・読書週間、読書月間や読書の時間、課題の設定等の推奨	継続
・校内読書会開催や、ブックリスト作成等、図書委員会活動の充実	拡大



②学校における読書環境の充実

実施目標

・ 学校図書館の蔵書の充実	拡大
・ 図書検索システムの公開等による利用の拡充	新規

③関係機関との連携及びネットワークづくり

実施目標

・ 各図書館・図書室が行うサービスの周知により、生徒や教職員の図書館利用と活用の強化	拡大
・ 高校生への就労情報支援	新規
・ 高校生の市立図書館・公民館図書室の学習室利用の推進	拡大
・ 高校生のボランティアによるイベントの開催・支援	新規



坂下高校図書室

## 2. 子育て支援団体や企業等における読書活動の推進



### (1) 子育て支援団体・図書館関係団体



#### ★ 本の楽しさを広げる機会づくり

子育て支援団体では、未就園児との関わりが多いことから、絵本とのふれあいや、読み聞かせの大切さを保護者に伝えるため、読み聞かせの技術向上の支援や読書活動の支援を行います。

子育て中の遊びのひとつとして絵本を取り入れることで、親子のふれあい・絆を深めることができ、保護者の立場に近い目線で語りかけることで、親子で絵本を楽しむことができることを伝えます。

図書館関係団体は、読書の楽しさを広めるためになくしてはならない団体です。情報共有を密に行い、団体が活躍できる場を提供することで、市立図書館・公民館図書室の活動の幅を広げ、読書活動の普及を進めます。

#### ＜現状と課題＞

##### 定期的な読み聞かせを行っています

- ・各公民館で行われる乳幼児学級で読み聞かせを行ったり、にぎわいプラザ3階「世代間交流フロア」の図書コーナーの絵本や大型絵本を充実させ、定期的な読み聞かせを行っています。
- ・乳幼児学級等の場では、保護者が読み聞かせの良さを感じても、市立図書館・公民館図書室のようにその場で本を借りることができないため、すぐに読み聞かせにつながらないと考えられます。
- ・子育て支援団体が開催する読み聞かせ事業についての周知が足りない状況です。

##### 本に親しむきっかけとなる活動をしています

- ・市立図書館・公民館図書室では、ボランティア団体が図書整理や企画展示、各種イベント開催等を協働して実施しています。
- ・読書講演会や文学散歩、百人一首大会等、本や文芸に親しむきっかけとなる活動を実施しています。<sup>\*18)</sup>



世代間交流フロアでのおはなし会



ボランティア団体・図書館共催「はがきコンクール」



読書サークル主催「百人一首大会」

18 【文学散歩】作品の舞台となった地や著者の出身地、歌碑等、ゆかりのある場所を散策する活動。

「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・アンケートでは、活動上の課題として約7割の団体が「会員が増えない」と回答しています。また、約2割の団体が「市立図書館・公民館図書室との連携がうまくいかない」と回答しました。
- ・聞き取りを行った2団体からは、「広報不足」、「親子のふれあいとしての読み聞かせの意義が、保護者に伝わっていない」という回答や「活動する場所が欲しい」という意見がありました。

《具体的な取り組み》

①子育て支援の場での読書活動の推進

実施目標

・各種イベントでの読み聞かせの実施	継続
・チラシ・ポスターの配布、設置をはじめとした広報活動の支援	拡大

②団体・サークル構成員の技術向上支援

実施目標

・技術向上のための講座・研修の実施《読み聞かせサポーター養成講座等》	継続
------------------------------------	----

③図書館等による団体・サークルの活動支援

実施目標

・団体・サークルへの情報提供、情報共有	継続
・団体・サークルとの事業提携を推進	継続
・団体貸出しの利用促進	拡大
・「中津川えほんジャンボリー」への支援	継続

参考：「中津川を絵本の聖地に！」中津川えほんジャンボリー



中津川えほんジャンボリー実行委員会では、「絵本を中心に据えながら、自分たちの地域や自然を見つめなおしたい」という思いから、作家を招いて、子ども達と一緒にのぼり旗に絵を描くワークショップや、常盤座の舞台上で絵本制作の裏話・コラボ絵等の公演を開催してきました。

平成21年にあべ弘士氏、村上康成氏を招いて第1回を開催し、その後も中川ひろたか氏、高島純氏、川端誠氏、広松由希子氏と、日本の絵本界をリードする方々を招いて開催しています。





\*参考 主な団体・サークルの活動の様子

付知「おひさま」

加子母「ひなたぼっこ」

川上「おはなしの会」

坂下「あおむしくん」

山口「おはなしの会」

蛭川「おはなしの会」

「ポポタムス」  
えいごDEお話し会

「読み聞かせサポーター」

「市川あつきさん」  
訪問読み聞かせ

「すい〜とぼとと」

(2) 企業・関係団体等



★ 読書を通じて仕事と子育てを楽しむ生活づくり

仕事を持つ保護者に対しては、日常多くの時間を過ごす企業の協力を得た支援・働きかけが必要です。企業内家庭教育講座<sup>\*19)</sup>等で、読書や読み聞かせの働きかけを行ったり、企業内文庫の設置、市立図書館・公民館図書室からの貸出しや配本の利用等、企業等の要望を伺いながら、推進していきます。また、企業や関係団体の読書に関する取り組みやイベントを支援します。

〈〈現状と課題〉〉

企業内家庭教育講座での働きかけをしています

- ・中津川市は県下でいち早く企業内家庭教育講座を始めました。
- ・市内のいくつかの企業では企業内家庭教育講座を実施し、その中で読書や読み聞かせの意義を伝えていますが、多くの企業ではまだ読書活動への関心が薄い状態です。



企業内家庭教育講座「ワークライフバランスセミナー」

書店では…

- ・市内には、定期的に読み聞かせ活動を行っている書店もあります。
- ・保護者の半数以上が読みたい本を書店で購入しています。

関係団体では…

- ・中津川市郷土かるた普及協議会では、毎年2月に郷土の歴史文化とかるたに親しむ「中津川市郷土かるた競技大会」を実施し、市内の小中学校から150名を超える参加者が参加しています。



第5回郷土かるた競技大会

「子どもの読書に関するアンケート」では…

- ・小5、中2、高2どの学年も半数以上が「1ヶ月に数回」書店を利用しています。特に、高2の約3割は「1週間に1回」利用しています。
- ・市立図書館・公民館図書室を利用しない理由として、保護者は「読みたい本は購入する」と回答しています。

19 【企業内家庭教育講座】企業・事業所における従業員研修会、昼休み等の機会を活用し、従業員を対象とした家庭教育講座。家族ぐるみで子育てを進めるにあたっては、働いている親も子育てしやすい環境の整備が必要であり、そのために企業・事業所と連携を図りながら『子育てを意識する』ための取り組み。中津川市は県下でいち早く企業内家庭教育講座を始めた。



《具体的な取り組み》

①企業の地域貢献としての読書活動支援と連携

実施目標

・企業による社会貢献活動としての図書資料の寄附活動や、ボランティア団体への支援を拡充できる社会環境の整備	新規
・企業や空き店舗等に文庫や図書コーナーの設置できるように支援	新規

②書店や企業、関係団体等と連携した子ども読書活動推進の取り組み

実施目標

・子どもの読書に関する取り組みを企業・事業所へPRし、連携事業を提案、実施	新規
・書店や企業、関係団体との情報交換と連携を推進	新規
・企業・関係団体等が実施する読書に関するイベントの支援	継続



親子での企業内家庭教育講座参加

### (3) 行政関係機関



#### ★ 子どもの読書活動を推進するネットワークづくり

市は、各事業との相互協力の体制づくりとその発展に努め、中津川らしい読書活動の推進に積極的に取り組むとともに、家庭、地域、学校、事業所における子どもの読書活動推進を促し、支援します。各部局が担当する子どもに関する施策の目的を達成するため、その事業の過程・手段の中に、本や読書活動を積極的に結び付けることに努めます。

#### 《現状と課題》

- ・各行政機関や、市内で活動する図書館関係団体で行っている子どもの読書活動推進に係る事業を把握、連携し、ネットワークを構築することで、相互に事業の協力、改良を行い、全市一丸となって「読書による人づくり」を進めていくことが必要です。

#### 中津川市社会福祉協議会では…

- ・登録制の福祉ボランティア団体が実施する研修等に助成や情報提供を行っています。子どもの読書活動を推進する福祉ボランティア団体としては2団体が登録しており、福祉施設や学校等で、絵本の読み聞かせやイベントを行っています。



福祉ボランティア「ささゆり読み聞かせボランティア」の活動

#### 学校教育課では…

- ・「絆プラン」「学力アッププログラム」を実施し、読み聞かせ活動の推進を行っています。家庭によって取り組み方の差があり、働きかけをさらに進める必要があります。



地域ボランティア育成研修会（幼児教育課）

#### 幼児教育課では…

- ・「学力アッププログラム」を受けて、読み聞かせ活動の取り組み方法を工夫しています。購入した大型絵本を園同士で定期的に回覧することで、読書資料の共有化を図っています。

#### 文化振興課では…

- ・「島崎藤村記念文芸祭」の小学生部門で俳句、詩、短歌の公募展を行い、子どもが文芸に親しむことのできる機会を提供していますが、実行委員会の高齢化が課題となっています。



第4回島崎藤村記念文芸祭

《具体的な取り組み》

①子どもの読書活動に関するネットワークの強化	実施目標
・各事業の効果的な実現を図るため、担当者連絡会議の強化	新規
②子どもの読書活動の推進のための新しい事業の提案	実施目標
・地域子育て支援事業として、児童センターに絵本コーナーを設置 (社会福祉協議会)	新規
・保育園・幼稚園単位での図書館利用の促進(幼児教育課)	新規
・保育園・幼稚園での読み聞かせ、保護者向けの読み聞かせ講習会の実施 (幼児教育課)	新規
・障がいのある子どもへの読書環境の整備等に関する課題の提案 (障害援護課)	新規
・男性の子育て参画を進める事業の中での読み聞かせの推進 (少子化対策課)	新規
・子どもが文芸に親しめるイベントの開催(文化振興課)	新規

### 3. 家庭をはじめとする子どもの読書環境の整備と充実



#### (1) 家庭

家庭は子どもの一番の心のよりどころであり、家族の読書への理解が大きく影響する場です。本を読むことが楽しいと気づくきっかけを作るためには、家族の協力が重要です。

家庭では身近な場所に本をおいたり、「家読」に取り組む等、家族で読書を楽しむ環境づくりに努めます。

家庭の読書環境を整えるために、保護者が本や読書の楽しさについて学ぶ機会の提供や、周知活動を進めます。

#### (2) 市立図書館・公民館図書室

図書館は、子どもが本と出会い読書を楽しみ、多様な情報に接することで心の成長につなげていける大切な施設であり、子どもの読書活動の推進に大きな役割を担っています。

そのため、市立図書館・公民館図書室では、子どものための図書資料や学習室、サービスの充実、支援するボランティアの育成等、より良い読書活動を整備していきます。

現在、図書室のない公民館については、図書室や図書コーナーの計画的な整備を進めるとともに、配本サービス等、市立図書館とのネットワークにより、子どもの読書活動を支援する効果的なサービスを展開していきます。



福岡公民館図書室

#### (3) 公民館

中津川市にある13館の公民館のうち、6館には公民館図書室があり、市立図書館の分館的な機能を果たしているほか、それぞれの地域の特性に合わせた読書推進活動が進められています。

こうした公民館図書室の活動とは別に、公民館が行う乳幼児学級や学習講座、各種行事の中で子どもや親子の読書活動を推進することも効果的と考えられます。

また、幼稚園・保育園・学校等の機関や、地域の団体・グループ等の活動を結び付けて、より良い地域読書活動を整備していくのも、公民館の重要な役割です。



#### (4) 学校図書館

中津川市の小中学校では、「学校図書館図書標準<sup>\*20)</sup>」に満たない学校や十分な設備の整っていない学校があります。児童・生徒の読書活動を活発化し、授業等で学校図書館を活用するために、学校図書館の図書資料と設備の充実に努めます。

これを補完できるように、市立図書館・公民館図書室からの団体貸出しや配本サービス、調べ学習図書の充実等、学校間および市立図書館との連携強化を進めます。

また、学校図書館司書、司書教諭を中心とした各学校で全校的な読書活動の推進を図るとともに、市立図書館司書との連携を強め、図書館利活用が更に促進されるよう努めます。



西小学校図書館

#### (5) 幼稚園・保育園

園生活のなかで本や紙芝居等に接することは、子どもの新たな世界を広げ、感性を育み、本を読む楽しさが人間的な成長につながっていきます。

そのため、発達段階に応じた絵本、紙芝居等の図書資料の充実に努めます。

また、子どもの目に触れやすい本の配置にする等工夫することで、自然に本に触れ、親しみ、多くの生活体験を積むことができる施設環境づくりを図ります。

#### (6) 児童館等公共施設

子どもが集まる児童館等では、図書の配置を工夫する等、子どもの関心が本に向くよう読書環境の整備に努めます。そのために保護者やボランティアの協力を得て、絵本・児童図書の貸出しや読み聞かせ、お話し会等の活動を行います。

また、乳幼児期から絵本に出会い、親子でふれあうことは大きな意味があります。親子で訪れる保健センターにおいては、親子が触れ合ったり本に出会う機会が自然とできるようにします。

母子保健の各種検診等事業の時に「赤ちゃん文庫」で絵本に親しむ機会を提供したり、絵本の「読み聞かせ」を行ったり、子どもの心の豊かな発達と親子のふれあいづくりの支援を行います。



にぎわいプラザ3階「世代間交流フロア」

20 【学校図書館図書標準】公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が平成5年3月に定めたもの。



### (7) 障がいのある子どもの読書環境

---

読書の機会は、全ての子どもに等しく与えられるべきものですが、現状では障がいのある子どもが自由に読書に親しむ活動を行うことができる図書資料や施設は、十分整備されていません。

障がいのある子どもが、読書活動を十分に行うことができるように、市立図書館・公民館図書室、関係機関の連携を通して、読書環境の整備に努めます。

### (8) 外国語を母語とする子どもの読書環境

---

外国語を母語とする子どもが本に親しむことができるように、市立図書館・公民館図書室等での外国語の図書の充実や、施設の外国語の案内表示等の設備面の整備に努めます。

## 第3章 計画の推進に向けて

### 1. 子どもの読書活動を推進する団体・機関等の連携と協力



計画を効果的に推進するためには、家庭、幼稚園・保育園、小学校・中学校、高等学校、市立図書館をはじめとする関係機関、団体が目標と情報を共有し、相互連携して取り組むことが特に大切です。ボランティアを含めた関係者、関係機関、団体による連絡会議の開催など連携・協力した活動に取り組みます。

### 2. 子どもの読書活動を支える人材の育成



計画の推進にあたっては、子どもと本を結び付ける「人」の育成が重要です。そのために研修等による図書館司書、学校図書館司書のスキルアップやボランティア、サークル等の育成、協働、支援を進めていきます。

### 3. 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及



子どもの読書活動を推進するためには、読書活動の意義や重要性に対する、市民や関係団体の理解と関心が必要です。家庭、幼稚園・保育園、小学校・中学校、高等学校、地域、関係機関などと連携しながら、子どもに関わるあらゆる機会を通して、広報、啓発活動を推進していきます。

### 4. 財政上の措置等



これまで述べてきた具体的な取り組みを実施する団体・機関・施設は、策定計画の実施に向けて、予算・財源の確保が必要です。

市を中心にして、関係機関、団体等の役割に応じ財政上の措置を講じるよう努めます。

併せて、対応する職員や人材の確保に努めます。

### 5. 計画の進捗管理と評価



市教育委員会あるいは市立図書館協議会などにおいて定期的に進捗管理と評価を受け、見直しを行い、計画を推進していきます。

## 資料編

資料1 中津川市の読書活動の現状	42
資料2 子どもの読書に関するアンケート概要	46
資料3 関係団体アンケート・ヒアリング概要	47
資料4 市内の図書・読書に関する団体一覧	48
資料5 子どもの読書活動の推進に関する法律	49
資料6 用語解説	51
資料7 読書活動関係施設マップ	55
資料8 読書活動関係施設一覧	57
資料9 中津川市子ども読書活動推進計画策定委員会	61
資料10 中津川市子ども読書活動推進計画策定の経過	62

# 中津川市の読書活動の現状

## 1. 蔵書数・利用状況

### ①市立図書館・公民館図書室

(H22年度)		蔵書数			貸出冊数		
		総数	うち児童書	割合	総数	うち児童書	割合
1	中央館	147,729冊	40,968冊	27.7%	207,941冊	92,536冊	44.5%
2	蛭川済美図書館	23,183冊	9,449冊	40.8%			
3	山口公民館図書室	8,139冊	2,338冊	28.7%			
4	坂下公民館図書室	15,239冊	6,267冊	41.1%			
5	川上公民館図書室	11,576冊	7,044冊	60.9%			
6	加子母公民館図書室	8,807冊	2,767冊	31.4%			
7	付知公民館図書室	10,904冊	3,748冊	34.4%			
8	福岡公民館図書室	6,497冊	3,196冊	49.2%			

\*市立図書館データ

### ②学校図書館

(H22年度)		蔵書数	貸出冊数	1人あたり 貸出し冊数	(H21)	1人あたり 貸出し冊数
1	小学校(19校)	169,209冊	348,817冊	73.2冊		59冊
2	中学校(12校)	98,709冊	25,676冊	10.5冊		7冊

\*教育委員会データ

### ③児童館等公共施設

(H22年度)	施設名	蔵書数	貸出利用		
1	発達支援センター	つくしんぼ	792冊	437人	
2	児童館等 公共施設	東児童館	5,396冊		
3		西児童館			
4		児童センター			
5		はなのきセンター			
6		健康福祉会館			約450冊
7		福岡保健センター			
8		付知福祉センター			
9		坂下健康福祉会館			

\*各施設データ

## 2. 読書に関する取り組み

## ①市立図書館・公民館図書室

\* H22年度

	名称	時期・頻度	内 容
中央館	絵本で子育て事業	随時 (23 園)	市内の各幼稚園・保育園へ出向き、「市川あつき」さんの読み聞かせや、保護者向け読み聞かせ講演会
	市川あつきさんのお話し会	2ヶ月に1回 (6回)	絵本コーナーにてお話し会
	POPOTAMUSの えいごDEお話し会	2ヶ月に1回 (6回)	「ポポタムス」さんによる英語のお話し会
	すいーとぼてとによる お話し会	毎週土曜日	読み聞かせサークル「すいーとぼてと」による絵本の読み聞かせ
	読み聞かせサポーター によるお話し会	毎週火曜日 (9回)	読み聞かせサポーター養成講座受講生「おはなし おいでんさい」による絵本の読み聞かせ
	まきこさんによるお話し会	不定期 (5回)	ボランティアによる絵本の読み聞かせ
	夏のお話し会	夏休み期間中 火曜日 (4回)	職員と図書館サポーターによる絵本の読み聞かせ と簡単な工作
	夏のおたのしみ工作 プラ板工作	2回	プラ板でキーホルダーづくり
	牛乳パックで絵本づくり	1回	秋の読書週間のイベントとして、小学生以下の子どもを対象に、牛乳パックで絵本づくり
	夏休み企画 手作り絵本講座	1回	小学3年～6年生の親子を対象に手作り絵本講座
蛭川 済美	どううちびっこ図書館	毎週土曜日	職員による読み聞かせや簡単な工作
	ランチタイム絵本	毎週水曜日	中学校給食時に絵本や小説の朗読と新刊案内
	こども読書まつり	年1回 (12日間)	押し花カード作り、クイズ大会、おはなし会と UFO作り、ももんが飛行機
	火曜おはなしタイム	隔週火曜日	「おはなしの会」による読み聞かせ
	科学あそび体験	年1回	夏休み中にミラクルしゃぼん玉あそび
	乳幼児学級 (あそびの広場)	1ヶ月に1回 (11回)	未就園児の親子を対象に、てあそび、絵本の読み 聞かせ、絵本貸出など
	さいび子どもまつり100 (100周年記念行事)	年1回	劇、工作、コスプレ、プラネタリウム、シールラリー、未 来の自分へ手紙、怪傑ゾロリ登場、プレゼント抽選会など
	かんたんクイズ	年1回 (3日間)	
	スタンプカード大会	年1回	期間中に本を借りてスタンプをため、12月～1 月にプレゼントと交換
	プラネタリウム	年1回 (2日間)	
山口	えいごDEお話し会	年1回	「ポポタムス」さんによる読み聞かせ
	山口地区福祉健康の集い	年1回	ボランティアによる読み聞かせ



坂下	坂下公民館図書室まつり	7月21日 ～8月3日	一日を図書の日としてお話会とクッキング
川上	読み聞かせサークル 「しゃぼん玉」の読み聞かせ会	4回	「しゃぼん玉」による読み聞かせとゲーム
	図書室まつり	年1回	「しゃぼん玉」の皆さんによる読み聞かせ、ゲーム、工作。「いごポポタムス」さんのお話会とゲーム、お楽しみくじ、古本市
加子母	加子母図書まつり	年1回	「市川あつき」さんによるひとりがたり・工作・廃本リサイクル・カフェコーナー
付知	読み聞かせ会	不定期	読み聞かせ・パネルシアター

## ②小学校・中学校

\* H22年度

	名称	時期・頻度	内容
1	読書週間	年に2回ほど	児童・生徒の図書委員会による図書館まつり等
2	一斉読書	各校で実施時期・頻度は異なる	朝の時間などを使った読書
3	推薦図書の設置	通年	各校独自に選書した図書を読みきる
4	教員、PTA、ボランティアによる読み聞かせ	各校で実施時期・頻度は異なる	絵本等の読み聞かせ
5	図書館利用指導	4月	学校図書館の利用の仕方、マナーなどの指導
6	調べ学習の実施	通年	学校図書館の資料を利用して、教科の調べ学習を行う
7	読書感想文コンクールへの参加	9月	
8	学校図書館司書によるブックトーク <sup>*20)</sup>	各校で実施時期・頻度は異なる	学校図書館司書が児童・生徒に向けてブックトークを行う

## ③幼稚園・保育園

\* H22年度

	名称	時期・頻度	内容
南幼稚園	保護者への読み聞かせ講習会	H22より実施	保護者に対して本の選定の仕方、読み聞かせの仕方について講習する
	図書館探検		南小学校の図書館で実際に本を借りる体験をする

21 【ブックトーク】あらかじめ選んでおいた数冊の本を紹介し、その本のおもしろさを伝えること。

## ③ 児童館等公共施設

\* H22 年度

	名称	時期・頻度	内 容
つくしんぼ	図書の貸し出し	随時	センター所蔵の図書(幼児用)の専用コーナーでの読書、並びに貸出
健康医療課	ブックスタート	随時	3カ月児健診時に図書館司書や保育士が読み聞かせのポイントを実演しながら説明し、乳児用の絵本を手渡している
健康医療課	赤ちゃん文庫	随時	市内12か所で実施している乳幼児何でも相談時に保育士が読み聞かせを行っている。また健康福祉会館ではBCG予防接種時に読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施

# 子どもの読書に関するアンケート概要

## 1. 目的

「中津川市子ども読書活動推進計画」策定の基礎資料として、市内の子どもたちの読書活動の実態や保護者の意識、その他子ども読書に関係する施設や事業所等の実態、また、各種団体の実態や意識を把握するため、生涯学習課でアンケートを実施しました。アンケート結果の詳細につきましては、別冊『アンケート結果報告書』をご覧ください。

## 2. 調査方法

幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校への配布・回収

## 3. 実施時期

平成23年9月～10月

## 4. 対象

### 児童・生徒

- (1) 小学5年生（8校の各1クラス）
- (2) 中学2年生（7校の各1クラス）
- (3) 高校2年生（5校の各1クラス）

### 保護者

- (1) 未就園児の保護者
- (2) 幼稚園・保育園5歳児の保護者
- (3) 小学5年生の保護者
- (4) 中学2年生の保護者
- (5) 高校2年生の保護者

## 5. 回収結果

### 児童・生徒

	配布枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（％）
小学5年生	174	151	86.8
中学2年生	230	164	71.3
高校2年生	185	112	60.5
合計	589	427	72.5

### 保護者

	配布枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（％）
未就園児の保護者	109	107	98.2
幼・保5歳児の保護者	127	98	77.2
小学5年生の保護者	174	151	86.8
中学2年生の保護者	230	162	70.4
高校2年生の保護者	185	67	36.2
合計	825	585	70.9

# 関係団体アンケート・ヒアリング概要

## 1. 調査方法

図書館関係団体・サークル（8団体）へのアンケートの配布・回収  
子育て支援団体・サークル（2団体）へのヒアリング調査

## 2. 実施時期

平成23年9月～12月

## 3. 対象

### 図書館関係団体（8団体）

- (1) 図書館ボランティア（2団体）
- (2) 音訳ボランティア（1団体）
- (3) 読み聞かせサークル（3団体）
- (4) 読書サークル（2団体）

### 子育て支援団体（2団体）

## 会員数および活動年数

	活動年数	会員数（男）	会員数（女）	合計
	（年）	（人）	（人）	（人）
図書館ボランティア	7年		11	11
図書館ボランティア	7ヵ月	10	39	49
音訳ボランティア	31年	2	22	24
読み聞かせサークル	27年		11	11
読み聞かせサークル	8年		5	5
読み聞かせサークル	19年		6	6
読書サークル	50年	8	147	155
読書サークル	約30年		6	6
子育て支援団体	9年		21	21
子育て支援団体	2年		49	49
合計		12	317	337

※アンケート・ヒアリング結果の詳細につきましては、別冊『アンケート結果報告書』をご覧ください。

## 市内の図書・読書に関する団体一覧

	地域	名称	活動内容	活動日
1	中津	読書サークル連絡協議会	◎12団体から構成。文学散歩や読書講演会等。	
2	中津	◎つれづれ	読書サークル	第4火曜
3	中津	◎中津川古典文学を読む会	古典文学を読む読書サークル	第1土曜
4	中津	◎万葉集を読む会	万葉集を読む読書サークル	第3金曜
5	中津	◎やまなみ	読書サークル	第1月曜
6	中津	◎みちくさ	読書サークル	第3木曜
7	中津	◎木蓮	読書サークル	第2水曜
8	中津	◎ファンタジー	文芸サークル	第2木曜
9	中津	◎昴	読書サークル	
10	中津	◎百人一首くらぶ	かるたサークル。百人一首大会等	第3日曜
11	中津	◎こだま	朗読サークル	第1・3火曜
12	中津	◎詩の会かたくり	文芸サークル。特に現代詩等	月1
13	中津	すいーとぼてと	図書館で読み聞かせ	毎週土曜日
14	中津	読み聞かせサポーターの会「おはなしおいでんさい」	市立図書館中央館で読み聞かせ	毎週火曜日
15	中津	図書館くらぶ	各図書館・図書室の展示、イベント開催等	
16	中津	音訳ボランティア「さざなみ会」	視覚障がい者用録音テープの作成	
17	中津	点訳サークル「ともしび会」	視覚障がい者用点字図書の作成	
18	中津	すくすくわくわくまあるいこころ	子育て支援の中での読み聞かせ	
19	山口	おはなしの会	お年寄りや子どもへの読み聞かせや民話の収集	
20	山口	まごめ民話の会	馬籠とその周辺に伝わる民話の収集と整理	毎週月曜
21	坂下	ひばり会	音訳	第1金曜
22	坂下	坂下おはなし隊「おかんたあーず」	読み聞かせ・紙芝居	
23	坂下	坂下影絵サークル	影絵	
24	坂下	古典を楽しむ会	古典を読む	第2・4木曜
25	坂下	あおむし君	公民館でのおはなし会	回数回
26	坂下	坂下高校ボランティア	図書まつりの手伝い	
27	坂下	図書ボランティア	図書整理	
28	川上	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」	福祉施設での読み聞かせ。地域行事でのおはなし会	第4土曜
29	加子母	ささゆり読み聞かせボランティア	特別養護老人ホーム等での読み聞かせ、音訳	月1度
30	加子母	ひなたぼっこ	図書室整理、図書購入補助、読み聞かせ、企画展示、図書事務全般	
31	付知	読書サークル	読書会テキスト朗読	
32	付知	フェニックス大学読み聞かせ講座	幼保老人施設へ訪問読み聞かせ	
33	付知	読み聞かせサポーター付知「おひさま」	読み聞かせ	
34	福岡	読み聞かせ隊	福岡小へ読み聞かせ、月2回ほど勉強会	
35	福岡	しゅわっち！	手話と読み聞かせ	
36	蛭川	おはなしの会	図書館で「おはなしタイム」	第1・3火曜
37	蛭川	◎さいびの会	読書サークル	

\*平成24年3月現在 生涯学習課調べ



# 子どもの読書活動の推進に関する法律

平成 13 年 12 月 12 日 法律第 154 号

## (目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

## (基本理念)

第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

## (国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

## (地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

## (事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

## (保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

## (関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

## (子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告

するとともに、公表しなければならない。

- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、4月23日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

- 子どもの読書活動の推進に関する法律案に対する附帯決議（衆議院）  
政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。
- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子ども健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

# 用語解説

## \*家読（うちどく） p.7

「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。家庭内で読書の楽しさを共有しようという運動。また、家族で読書を楽しむことそのものをいう。学校で行われている「朝読」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたもので、特に決まりはなく、本を通して家族で同じ時間、同じ空間を共有する活動。

## \*絵本で子育て事業 p.12

幼稚園、保育園への読み聞かせ事業。平成19年度より市立図書館（中央館）で実施。公立・法人含めた33園の希望を取って講師および司書を派遣し、親子行事や祖父母参観日等で読み聞かせ等を行う。

## \*学校図書館司書 p.20, 24, 25, 28, 38

学校図書館で司書として仕事に従事している職員。

## \*学校図書館図書標準 p.38

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が平成5年3月に定めたもの。

## \*家庭教育学級 p.8

「親子のかかわり」について考えたり、子育てを学ぶ場。「親同士の交流」の場でもある。公民館で行われる乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象とした乳幼児学級や、母親委員会の研修会等。

## \*企業内家庭教育講座 p.33

企業・事業所における従業員研修会、昼休み等の機会を活用し、従業員を対象とした家庭教育講座。家族ぐるみで子育てを進めるにあたっては、働いている親も子育てしやすい環境の整備が必要であり、そのために企業・事業所と連携を図りながら『子育てを意識する』ための取り組み。中津川市は県下でいち早く企業内家庭教育講座を始めた。

## \*郷土にゆかりのある作家 p.13

しまざきとうそん  
島崎藤村（1872-1943）馬籠出身の詩人・小説家。著書に「破戒」「夜明け前」等。

さかいあさひこ  
酒井朝彦（1894-1969）中津川町出身の児童文学者。36年児童文学者協会会長。著書に「手のなかの虫」「山国の子ども」等。

みやぐち  
宮口しづえ（1907-1994）山口地区にゆかりのある児童文学作家。著書に「ミノスケのスキー帽」「ゲンと不動明王」等。

むらかみやすなり  
村上康成（1955-）苗木地区にゆかりのある絵本作家。著書に「ピンクとスノーじいさん」「くじらのバース」等。

その他、はやまよしき葉山嘉樹（文学者）、おおたじょすい太田如水（俳句）等。

**\*子ども読書の日 p.7**

4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第10条によって制定。『国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない』とされている。

**\*こどもの読書週間 p.12**

4月23日～5月12日の約3週間。社団法人読書推進運動協議会が1959年に始めた。

**\*司書 p.6, 12, 20, 24, 25, 28, 38**

「図書館法」第4条に規定されている公立図書館および私立図書館に置かれる専門的職員。

**\*司書教諭 p.24, 38**

「学校図書館法」第5条において、学校図書館におかなければならないとされる司書教諭の資格を持つ職員。同法附則では、学級数が11以下の規模の学校には置かないことができるとされており、中津川市では司書教諭のいない学校を含めて、学校図書館司書がその業務を支援している。

**\*調べ学習 p.12, 24, 25, 26, 28, 38**

児童生徒がある課題について、図書館を利用したり聞き取り調査を行ったり、様々な資料を調べ結果をまとめること。

**\*団体貸出し p.15, 16, 18, 31, 38**

図書館が、地域や職場の団体やグループ等に図書館資料を貸出しすること。

**\*配本サービス p.11, 12, 16-18, 25, 38**

利用者から要望のあった資料を公民館図書室や学校等利用者が利用しやすい場所まで配送するサービス。中津川市では、一般利用者から要望のあった予約リクエスト本をその利用者が利用しやすい公民館図書室まで届けるサービスと、学校の先生や学校司書から要望のあった資料をその学校に届けるサービスを行っている。また、特別養護老人ホームへの配本も行っている。

**\*パパママ教室 p.6**

市が実施する、初めての出産を迎える夫婦を対象とした子育て講座。子育てについて、育児についての話や、お父さんの妊婦体験、もく浴体験等。

**\*ブックスタート (Book Start) p.6, 7**

1992年にイギリスではじまった運動。赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報を手渡し、絵本を介した心ふれあうひとときをもつきっかけを作る。

中津川市では、3ヵ月健診時に行っており、図書館司書、保健師、ボランティアが読み聞かせの大切さ、絵本を通じた親子のふれあい等を説明し、乳児用絵本「いないいないばあ」(第1子)「じゃあじゃあびりびり」(第2子)「おつきさまこんばんは」(第3子)を手渡している。

**\*ブックトーク (Book Talk) p.44**

ひとつのテーマに沿って、あらかじめ選んでおいた数冊の本を口頭で紹介し、本のおもしろさを幅広く伝えること。

**\*ブックリスト (Book List) p.6, 7, 28**

子どもの発達段階や、あるテーマに沿った本を、紹介したり、読書を薦めたりするために作られた本の一覧。「乳幼児向け絵本のリスト」「成人された皆さんに会って欲しい本」等。

**\*文学散歩 p.30,48**

作品の舞台となった地や著者の出身地、歌碑等、ゆかりのある場所を散策する活動。

**\*読み聞かせサポーター養成講座 p.11, 31**

市が実施する、読み聞かせに興味がある人を対象とした講座。絵本の選び方、読み方、実際にボランティアとして活動する際の心得等を学ぶ。

**\*レファレンス p.12**

「調べもの」や「探しもの」を、図書館職員が「お手伝い」すること。利用者が求める資料や情報を図書館資料からの確に提供する「情報提供」や、利用者が図書館資料を探す際の手助けを行う「利用援助」をいう。

\*参考資料

図書館用語辞典編集委員会編『最新図書館用語第辞典』2004.4 柏書房

自由国民社編『現代用語の基礎知識』2011.1 自由国民社

日外アソシエーツ編『作家・小説家人名事典』2002.10 日外アソシエーツ



参考：市内の図書館・図書室の輪



蛭川済美図書館



山口公民館図書室



市立図書館（中央館）



坂下公民館図書室



川上公民館図書室



加子母公民館図書室



付知公民館図書室



福岡公民館図書室

# 読書活動関係施設一覧

## ①市立図書館・公民館図書室

施設名称	住所	電話番号
1 中津川市立図書館	本町二丁目 3-25	66-1308
2 蛭川済美図書館	蛭川 2178-2	45-2003
3 山口公民館図書室（山口公民館内）	山口 1616-3	75-3158
4 坂下公民館図書室（坂下公民館内）	坂下 820-1	75-3115
5 川上公民館図書室（川上公民館内）	川上 1437-1	74-2111
6 加子母公民館図書室（加子母公民館内）	加子母 3519-2	79-2111
7 付知公民館図書室（付知公民館内）	付知町 4956-43	82-3023
8 福岡公民館図書室（福岡公民館内）	福岡 716-2	72-2144

## ②公民館

施設名称	住所	電話番号
1 中央公民館	本町二丁目 3-25	66-4141
2 苗木公民館	苗木 2084	66-1328
3 坂本公民館	千旦林 1197-10	68-2001
4 落合公民館	落合 728-2	69-3201
5 阿木公民館	阿木 33	63-2001
6 神坂公民館	神坂 294-2	69-4111
7 山口公民館	山口 1616-3	75-3158
8 坂下公民館	坂下 820-1	75-3115
9 川上公民館	川上 1437-1	74-2111
10 加子母公民館	加子母 3519-2	79-2111
11 付知公民館	付知町 4956-43	82-3023
12 福岡公民館	福岡 716-2	72-2144
13 蛭川公民館	蛭川 2198-1	45-2211

## ③小学校

施設名称	住所	電話番号
1 南小学校	昭和町 6-47	66-1369
2 東小学校	東宮町 5-1	66-1336
3 西小学校	駒場 301-1	66-1355
4 苗木小学校	苗木 2083	66-1304
5 坂本小学校	千旦林 1460	68-2020
6 落合小学校	落合 943-4	69-4112
7 阿木小学校	阿木 79-1	63-2234
8 神坂小学校	神坂 1526-3	69-4002
9 山口小学校	山口 1647-21	75-2161

10	坂下小学校	坂下 2375	75-2165
11	川上小学校	川上 409-7	74-2313
12	加子母小学校	加子母 2781-72	79-2125
13	付知北小学校	付知町 3719-1	82-3029
14	付知南小学校	付知町 10890	82-3073
15	田瀬小学校	田瀬 14	72-3009
16	下野小学校	下野 664	72-2054
17	福岡小学校	福岡 737	72-2004
18	高山小学校	高山 1037	72-5010
19	蛭川小学校	蛭川 2298-1	45-2009

## ④中学校

	施設名称	住所	電話番号
1	第一中学校	駒場 1606-3	66-1534
2	第二中学校	中津川 2251-1	66-1245
3	苗木中学校	苗木 2092	65-3387
4	坂本中学校	千旦林 1386-1	68-2021
5	落合中学校	落合 761-2	69-3206
6	阿木中学校	阿木 6006	63-2024
7	神坂中学校	神坂 1526-3	69-4861
8	坂下中学校	坂下 1500-1	75-2164
9	加子母中学校	加子母 3357	79-3019
10	付知中学校	付知町 5758	82-3054
11	福岡中学校	福岡 1-8	72-2006
12	蛭川中学校	蛭川 1798-1	45-2011

## ⑤幼稚園

	施設名称	住所	電話番号
1	中津川幼稚園	東宮町 5-1	66-1553
2	南幼稚園	昭和町 6-47	66-1310
3	西幼稚園	駒場 260-2	66-1356
4	坂本幼稚園	千旦林 1460	68-4615
5	神坂幼稚園	神坂 1526-3	69-3774
6	山口幼稚園	山口 1647-36	75-2505
7	杉の子幼稚園	駒場後洞 1195-7	66-1261
8	南さくら幼稚園	中津川 2358-1	65-3205
9	誠和幼稚園	手賀野 175	66-0237
10	付知のぞみ幼稚園	付知町 11010-3	82-2133

## ⑥保育園

施設名称	住所	電話番号
1 一色保育園	東宮町 3-29	66-1330
2 中津川保育園	柳町 5-11	66-1264
3 小鳩保育園	中津川 2906-1	66-1537
4 北野保育園	中川町 3-36	66-1501
5 苗木保育園	苗木 1610-3	66-1538
6 坂本保育園	茄子川 692-12	68-2224
7 落合保育園	落合 936-1	69-3527
8 阿木保育園	阿木 107-1	63-2341
9 坂下保育園	坂下 1578-1	75-2167
10 川上保育園	川上 303-1	74-2350
11 加子母保育園	加子母 3417-7	79-2039
12 付知保育園	付知町 5792	82-2379
13 田瀬保育園	田瀬 1532-1	72-3589
14 下野保育園	下野 630-17	72-3312
15 福岡保育園	福岡 699-2	72-2062
16 高山保育園	高山 1063	72-5024
17 蛭川保育園	蛭川 4844-1	45-2611
18 さくら保育園	中津川 2358-4	66-5130
19 東さくら保育園	中津川 1250-6	66-1213
20 西保育園	駒場 2416-1	66-3189
21 めぐみ保育園	茄子川青木 1983-15	68-5157
22 のぞみ保育園	苗木 4596-7	67-2327
23 かやの木保育園	かやの木町 2654-1	66-1533

## ⑥高等学校・大学

施設名称	住所	電話番号
1 市立阿木高等学校	阿木 119	63-2243
2 県立中津高等学校	中津川 1088-2	66-1361
3 県立中津商業高等学校	駒場大岩 1646	66-1358
4 県立中津川工業高等学校	千旦林 1521-3	68-2115
5 県立坂下高等学校	坂下 624-1	75-2163
6 中京学院大学	千旦林 1-104	66-3121

## ⑦児童館等公共施設

施設名称	住所	電話番号
1 児童センター	かやの木町 1-17	66-1111(内線 81-548)
2 東児童館	中津川 2364-236	66-7448
3 西児童館	駒場 1249-12	66-7443
4 坂本ふれあい施設	千旦林 1457-13	68-6840
5 発達支援センター「つくしんぼ」	柳町 5-10	66-5256
6 発達支援センター「どんぐり」	田瀬 1532-1(田瀬保育園内)	72-3589
7 発達支援センター「どんぐり」坂下教室	坂下 714-3(健康福祉会館あおぞら内)	70-1016
8 発達支援センター「どんぐり」加子母教室	加子母 3417-7(加子母保育園内)	79-2039
9 発達支援センター「どんぐり」付知教室	付知 5792(付知保育園内)	82-2379
10 発達支援センター「どんぐり」蛭川教室	蛭川 2358-4(蛭川保健センター内)	45-2616
11 にぎわいプラザ世代間交流フロア	栄町 1-1 にぎわいプラザ 3 階	66-1111(内線 80-4288)
12 健康福祉会館	かやの木町 2-5	66-1111 (内線 81-627)
13 坂下健康福祉会館	坂下 714-3	70-1016
14 付知福祉センター	付知町 5881-32	82-3174
15 福岡総合保健福祉センター	福岡 714-2	72-2111

\*平成24年3月現在



# 中津川市子ども読書活動推進計画策定委員会

## 中津川市子ども読書活動推進計画策定委員会委員（任期 H23.7.28～H24.3.31）

	氏名	役職	区分	備考
1	玉置 寛	元小牧市立図書館館長	識見のある者	会長
2	郷田 恵美	市社会教育委員の会	識見のある者	副会長
3	金森 さちこ	岐阜県子どもの読書活動推進協議会委員	識見のある者	
4	石垣 寿子	市内校長会	小・中学校の代表	
5	大山 ひろみ	中津高等学校図書館司書	高等学校の代表	
6	吉田 三郎	市図書館協議会会長	市図書館協議会の代表	
7	桑澤 芳江	中津川市読書サークル連絡協議会会長	読書関係団体の代表	
8	水崎 裕子	「まあるいところ」代表	子育て支援団体の代表	
9	小林 光代	中津川市立図書館館長	図書館長	

## ワーキンググループ

	氏名	役職	区分	備考
1	二村 英文	所長補佐	山口総合事務所	リーダー
2	青木 琴美	図書館司書	中津川市立図書館	サブリーダー
3	小木曾 靖濃	主任指導主事	教育研修所	
4	池口 沙織	学校図書館司書	学校教育課	
5	後藤 素子	図書主任	蛭川中学校	
6	後藤 佳子	指導主事	幼児教育課	
7	原 和枝	副主任保育士	発達支援センターつくしんぼ	
8	佐藤 さよ子	主任技術主査	健康医療課	
9	宮本 知秀	少子化対策係長	少子化対策課	
10	足立 修	企画統括主幹	文化スポーツ部	
11	原 良宏	課長補佐	生涯学習課	
12	小池 孝子	読書活動推進係長	〃	
13	梶田 真理子	主査	〃	
14	林 佳生	主任	〃	
15	小椋 郁美	主事	〃	
16	戸谷 朱里	主事	新図書館準備室	

## 編集・事務局（生涯学習課）

	氏名	役職
1	田口 正弥	課長
2	原 良宏	課長補佐
3	小池 孝子	読書活動推進係長
4	梶田 真理子	主査
5	林 佳生	主任
6	小椋 郁美	主事

## 監修

	氏名	役職	区分
1	尾関 道雄	部長	文化スポーツ部
2	市岡 清	対策監	文化スポーツ部
3	近藤 信幸	副館長	図書館
4	片田 毅	室長	新図書館準備室
6	足立 修	企画統括主幹	文化スポーツ部

# 中津川市子ども読書活動推進計画策定の経過

日 程	会 議 等	内 容
平成 23 年 7 月 28 日	第 1 回策定委員会	推進計画策定の趣旨説明・策定スケジュールについて 中津川市の読書活動の現状について
平成 23 年 8 月 5 日	第 1 回ワーキンググループ会議	リーダー・サブリーダーの選出 推進計画策定の趣旨説明
平成 23 年 8 月 26 日	第 2 回策定委員会	計画の骨子について（目標、基本方針、章立て） アンケート・ヒアリングについて
	第 2 回ワーキンググループ会議	アンケート・ヒアリングについて
平成 23 年 9 月～10 月	子どもの読書に関する アンケート・ヒアリング実施	幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校でアンケート実施 および、関係団体へのアンケート・ヒアリング実施・集計
平成 23 年 11 月 11 日	第 3 回策定委員会	アンケート・ヒアリング結果について 素案（章立て）の修正について
平成 24 年 1 月 11 日	第 3 回ワーキンググループ会議	計画素案の検討について
平成 24 年 1 月 20 日	第 4 回策定委員会	計画素案の検討について
平成 24 年 2 月 22 日	第 5 回策定委員会	計画案の検討について パブリックコメントの実施について
平成 24 年 3 月 6 日～15 日	パブリックコメント	市役所、各市立図書館・公民館図書室、各総合事務所・ 地域事務所、にぎわいプラザ、市ホームページで実施
平成 24 年 3 月 26 日	第 6 回策定委員会	計画案の承認について
	第 4 回ワーキンググループ会議	

## おわりに

「中津川市子ども読書活動推進計画」は、平成13年施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」と翌年文科省より示された「子どもの読者活動の推進に関する基本的な計画」で求められている具体的な推進計画として策定されたものです。

始めに委員会は、議員立法である意義や法律の趣旨・目的の理解を深めるとともに、中津川市における子どもの読書活動と読書環境の現状把握に努めました。それにより、読書活動推進にかかる課題と読書環境の整備目標などを明らかにし、次いで計画の基本方針と内容の検討を行い、具体的な推進計画づくりを進めました。その際、より多くの市民に理解と周知されることが読書活動推進の第一歩と心がけながら、実現できる計画として実効性を高められることと「中津川らしさ」の視点を盛り込むことにも留意しました。

子どもに、より良い生き方、生活そして人生をと願う思いを、読書という具体的な習慣づくりから支えるため、この計画では、市民ひとり一人に読書活動の大切さをあらためて感じていただくとともに、子どもの手の届くところには本があり、好きな場所で好きな時間に好きな本を読むことができる、という読書環境をつくりあげようとしています。取り上げられている内容のいくつかは、すでに読書活動として行われていますが、いままで以上に連携や交流を深めることで、優れた読書環境の得られる機会をより多くの子どもが持てるように、また、子どもの成長に合わせてより活発な読書活動のできるような、態勢づくりが大切としています。

ところで、読書の意義や何を期待できるかとの思いに、「良質な食べ物が子どもの健康な成長に不可欠のように、読書はその心を豊かに育む大切な糧となる。」とその効用を例えられることがあります。古くは「<sup>どくしよしやうゆう</sup>読書尚友」と言われましたが、最近、読書は読解力や表現力を高めることなどが示されています。そうしたなか、読書は夢と優しさの力として、希望や信念そして目標や生き甲斐を育み、生き方や繋がりを深め公平や思いやりという気持ちを豊かにする役に立っているのではと、私自身は想うようになってきています。

さて、これまで文化・芸術面などに先人を輩出してきた中津川市は、すでに優れた読書環境としての土壌を備えており、新たにこの計画が広範にわたって周知され、それぞれの特徴を生かした読書活動推進の場と機会が実現されることによって、今後中津川ならではの文化風土が子どもの健やかな成長とともに、大いに発展していく契機になることを願っています。

最後に、子どもがいつでも・どこでも読書に親しめる機会を持てるという具体的な活動推進計画の実現に向けて、委員会で求めた実態調査やアンケート資料を始め、基礎資料の作成や諸団体・施設との調整などを精力的に進められた方々の尽力により、短い期間に関わらず円滑に計画を策定できたことに感謝させていただきます。

平成24年3月

中津川市子ども読書活動推進計画策定委員会  
会長 玉置 寛

## 中津川市子ども読書活動推進計画

---

発行日 平成24年3月発行

編集・発行 中津川市文化スポーツ部生涯学習課  
〒508-0032 岐阜県中津川市栄町1-1 にぎわいプラザ4階  
TEL (0573) 66-1111  
MAIL [shogai-e@city.nakatsugawa.lg.jp](mailto:shogai-e@city.nakatsugawa.lg.jp)

---





# 中津川市子ども読書活動推進計画

2012. 3